

Systemwalker Desktop Keeper V14g



運用ガイド クライアント編

Windows

B1WD-2775-01Z0(00)
2009年8月

まえがき

本書の目的

本書は、以下の製品を使用するために必要な設定方法および操作方法について説明しています。

- ・ Systemwalker Desktop Keeper V14g(14.0.0)

本書は、Windows版を対象としています。

本書の読者

本書は、Systemwalker Desktop Keeperの持出しユーティリティを使用して、ファイルの持ち出しを行う方、および暗号化したファイルを自動添付してメール送信する方を対象に書かれています。

また、本書を読むためには、以下の知識が必要です。

- ・ パーソナルコンピュータに関する一般的な知識
- ・ Microsoft® Windowsに関する一般的な知識
- ・ インターネットに関する一般的な知識

本書の構成

本書は、1章および付録から構成されています。

第1章 持出しユーティリティを使用してファイルやフォルダを持ち出す

Systemwalker Desktop Keeperの持出しユーティリティの使用方法について説明します。

第2章 暗号化したファイルを自動添付して、メール送信する

ファイルを暗号化し、操作しているPC標準のメールソフトのメール作成画面に暗号ファイルが添付された状態でメールソフトを自動起動する方法を説明します。

付録A メッセージ一覧

Systemwalker Desktop Keeperで出力されるメッセージについて説明します。

本書の位置づけ

Systemwalker Desktop Keeperのマニュアルにおける本書の位置づけは、以下のとおりです。

マニュアル名称	内容
Systemwalker Desktop Keeper 解説書	Systemwalker Desktop Keeperの概要および動作環境について説明します。
Systemwalker Desktop Keeper 導入ガイド (注1)	Systemwalker Desktop Keeperの導入設定および保守/管理方法について説明します。
Systemwalker Desktop Keeper 運用ガイド 管理者編(注1)	Systemwalker Desktop Keeperの運用方法について説明します。
Systemwalker Desktop Keeper 運用ガイド クライアント編(本書) (注2)	Systemwalker Desktop Keeperの持出しユーティリティの機能概要や操作方法、暗号化ファイルをメールに自動添付する方法について説明します。
Systemwalker Desktop Keeper リファレンスマニュアル	Systemwalker Desktop Keeperで使用するコマンド、ファイル、メッセージ、およびポート番号について説明します。

注1) Systemwalker Desktop Keeper 導入ガイドおよびSystemwalker Desktop Keeper 運用ガイド 管理者編は、Systemwalker Desktop Keeperの管理者が参照するマニュアルです。

注2) Systemwalker Desktop Keeper 運用ガイド クライアント編は、持出しユーティリティのヘルプからも参照できます。

Systemwalker技術情報ホームページでは、最新のマニュアルやトラブルシューティングガイド、Systemwalkerの使用方法などを公開しています。最初に、Systemwalker技術情報ホームページを参照することをお勧めします。

URL: <http://systemwalker.fujitsu.com/jp/man/>

ユーザー名: DTK_V14g

パスワード: green

本書の表記について

本書では、説明のために、以下に示す名称、記号および略称を使用しています。

コマンドで使用する記号について

コマンドで使用している記号について以下に説明します。

記号の意味

記号	意味
[]	この記号で囲まれた項目を省略できることを示します。
	この記号を区切りとして並べられた項目の中から、どれか1つを選択することを示します。

マニュアルの記号について

マニュアルでは以下の記号を使用しています。

注意

特に注意が必要な事項を説明しています。

ポイント

知っておくと便利な情報を説明しています。

DTKインストールディレクトリについて

Systemwalker Desktop Keeperの製品をインストールしたときの、インストール先のディレクトリをDTKインストールディレクトリと表示しています。

略称について

本書では、以下のように製品表示名を略して表記しています。

製品表示名	略称
Systemwalker Desktop Keeper Base Edition V12.0L10	BEV12.0L10
Systemwalker Desktop Keeper Base Edition V12.0L20	BEV12.0L20
Systemwalker Desktop Keeper Base Edition V13.0.0	BEV13.0.0
Systemwalker Desktop Keeper Base Edition V13.2.0	BEV13.2.0
Systemwalker Desktop Keeper Base Edition V13.3.0	BEV13.3.0
Systemwalker Desktop Keeper Standard Edition V12.0L20	SEV12.0L20

製品表示名	略称
Systemwalker Desktop Keeper Standard Edition V13.0.0	SEV13.0.0
Systemwalker Desktop Keeper Standard Edition V13.2.0	SEV13.2.0
Systemwalker Desktop Keeper Standard Edition V13.3.0	SEV13.3.0

本書では、以下のようにオペレーティングシステム名を略して表記しています。

オペレーティングシステム名	略称
Microsoft® Windows Server® 2008, Standard Edition、 Microsoft® Windows Server® 2008, Enterprise Edition、 Microsoft® Windows Server® 2008, Standard x64 Edition、 Microsoft® Windows Server® 2008, Enterprise x64 Edition Microsoft® Windows Server® 2008 Standard without Hyper-V™ Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise without Hyper-V™	Windows Server® 2008
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard Edition、 Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition、 Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition、 Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition、 Microsoft® Windows Server® 2003, Standard x64 Edition、 Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition、 Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition、 Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition	Windows Server® 2003
Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system、 Microsoft® Windows® 2000 Server operating system、 Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server operating system	Windows® 2000
Microsoft® Windows® XP Professional、 Microsoft® Windows® XP Home Edition	Windows® XP
Microsoft® Windows Vista® Home Basic、 Microsoft® Windows Vista® Home Premium、 Microsoft® Windows Vista® Business、 Microsoft® Windows Vista® Enterprise、 Microsoft® Windows Vista® Ultimate	Windows Vista®
Microsoft® Windows® Millennium Edition	Windows® ME
Microsoft® Windows® 98 Second Edition	Windows® 98
Microsoft® Windows® 95 operating system	Windows® 95
Microsoft® Windows Server® 2008, Standard Edition、 Microsoft® Windows Server® 2008, Enterprise Edition、 Microsoft® Windows Server® 2008, Standard x64 Edition、 Microsoft® Windows Server® 2008, Enterprise x64 Edition、 Microsoft® Windows Server® 2003, Standard Edition、 Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition、 Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition、 Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition、 Microsoft® Windows Server® 2003, Standard x64 Edition、 Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition、 Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition、 Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition、 Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition、 Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system、 Microsoft® Windows® 2000 Server operating system、 Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server operating system、 Microsoft® Windows® XP Professional、 Microsoft® Windows® XP Home Edition、	Windows

オペレーティングシステム名	略称
Microsoft® Windows Vista® Home Basic、 Microsoft® Windows Vista® Home Premium、 Microsoft® Windows Vista® Business、 Microsoft® Windows Vista® Enterprise、 Microsoft® Windows Vista® Ultimate、 Microsoft® Windows® Millennium Edition、 Microsoft® Windows® 98 Second Edition	

輸出管理規制について

当社ドキュメントには、外国為替および外国貿易管理法に基づく特定技術が含まれていることがあります。特定技術が含まれている場合は、当該ドキュメントを輸出または非居住者に提供するとき、同法に基づく許可が必要となります。

商標について

Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Vista、およびWindows Serverまたはその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他の製品名は、各社の商標または登録商標です。

Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。

平成21年 8月

改版履歴
平成21年 8月 初版

Copyright 2005 - 2009 FUJITSU LIMITED

目次

第1章 持出しユーティリティを使用してファイルやフォルダを持ち出す.....	1
1.1 持出しユーティリティを起動する.....	1
1.2 ファイルを持ち出す.....	4
1.2.1 CD/DVDメディア以外へファイルを持ち出す.....	4
1.2.2 CD/DVDメディアへファイルを持ち出す.....	7
1.3 持出し先のファイルを確認する.....	15
1.4 持出しファイルを復号する.....	16
1.5 ドライブをフォーマットする.....	16
第2章 暗号化したファイルを自動添付して、メール送信する.....	19
付録A メッセージ一覧.....	22
A.1 インストール時に出力されるメッセージ.....	22
A.2 アンインストール時に出力されるメッセージ.....	31
A.3 運用時に出力されるメッセージ.....	34
A.4 ファイル持出しユーティリティで出力されるメッセージ.....	42
A.5 暗号化ファイルのメール自動添付で出力されるメッセージ.....	61
A.6 保守コマンドで出力されるメッセージ.....	62
用語集.....	64
索引.....	66

第1章 持出しユーティリティを使用してファイルやフォルダを持ち出す

本章では、以下の操作方法を説明します。

- Systemwalker Desktop Keeperの持出しユーティリティを使用して、クライアント(CT)からファイルやフォルダを持ち出す

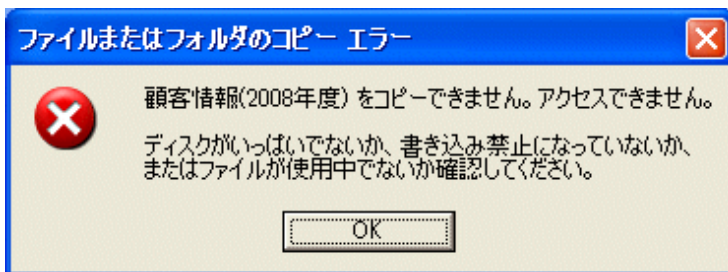
1.1 持出しユーティリティを起動する

Systemwalker Desktop Keeperのクライアント(CT)をインストールしたPCでは、ポリシーの設定によって、ファイルやフォルダの持ち出しを制限(禁止)されている場合があります。このときは、エクスプローラなどからファイルやフォルダを持ち出すことはできません。

禁止対象のドライブからファイルを持ち出そうとした場合、クライアント(CT)では以下のエラーメッセージが表示されます。

【エクスプローラから禁止対象のドライブにファイルを持ち出そうとした場合のメッセージ例】

Windows® XPの場合



Windows Vista®の場合



なお、禁止対象のドライブに対する以下の操作は禁止されません。

- フォルダの新規作成
- フォルダのコピー(ただし、フォルダ配下のファイルはコピーされません)

ファイルやフォルダを持ち出すには、持出しユーティリティを使用します。

持出しユーティリティを使用すると、Systemwalker Desktop Keeperのクライアント(CT)をインストールしたPCのドライブなどから、リムーバブルメディアなどにファイルやフォルダを持ち出すことができます。

持ち出し元ファイル名(フルパス)として指定できるパス長は、218文字までです。

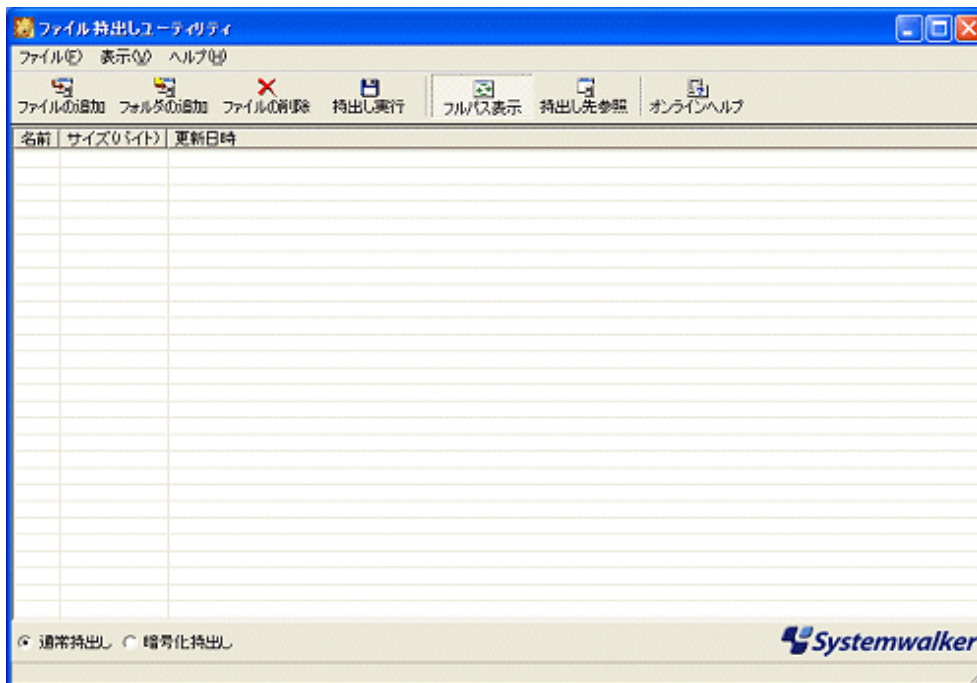
以下に、持ち出しユーティリティの起動方法および画面構成について説明します。

起動する

持ち出しユーティリティの起動方法について説明します。

1. 持ち出しユーティリティを、以下のいずれかの方法で起動します。

- ー クライアント(CT)をインストールしたPCの[スタート]メニューから[プログラム]-[Systemwalker Desktop Keeper]-[クライアント]-[ファイル持ち出しユーティリティ]を選択します。
- ー エクスプローラからファイルまたはフォルダを右クリックし、[送る]-[Desktop Keeper ファイル持ち出しユーティリティ]を選択します。
- ー ファイルまたはフォルダを、デスクトップの[Desktop Keeper ファイル持ち出しユーティリティ]アイコンにドラッグ&ドロップします。
→[ファイル持ち出しユーティリティ]画面が表示されます。



画面の表示内容

[ファイル持ち出しユーティリティ]画面の各部の名称を説明します。



ファイル持ち出し一覧

クライアント(CT)から持ち出すファイルやフォルダの一覧が表示されます。

メニューバー/ツールバー

[ファイル持ち出しユーティリティ]画面のメニューバーおよびツールバーについて説明します。

メニューバー		ツールバー	機能概要
[ファイル]	[ファイルの追加]	 ファイルの追加	ファイル選択画面を表示します。持ち出すファイルを選択します。

メニューバー		ツールバー	機能概要
	[フォルダの追加]	 フォルダの追加	フォルダ選択画面を表示します。持ち出すフォルダを選択します。
	[ファイルの削除]	 ファイルの削除	ファイル持出し一覧に表示されているファイルやフォルダを削除します。
	[持出し実行]	 持出し実行	平文または暗号化によるファイルやフォルダの持出しを行います。
	[ドライブのフォーマット]	—	ドライブのフォーマットを行います。 ポリシーの設定によって、表示の有無が変わります。
	[CD-RW/DVD-RW 消去]	—	CD-RW/DVD-RWメディアの全データ消去を行います。 クライアント(CT)がCD-RW/DVD-RW消去可能なOSの場合に表示されます。 ポリシーの設定によって、表示の有無が変わります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ CD-RWメディアのデータ消去が可能なOSは、以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> — Microsoft® Windows® XP Professional(ServicePack2以降) — Microsoft® Windows® XP Home Edition(ServicePack2以降) — Microsoft® Windows Vista® Home Basic — Microsoft® Windows Vista® Home Premium — Microsoft® Windows Vista® Business — Microsoft® Windows Vista® Enterprise — Microsoft® Windows Vista® Ultimate ・ DVD-RWメディアのデータ消去が可能なOSは、以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> — Microsoft® Windows Vista® Home Basic — Microsoft® Windows Vista® Home Premium — Microsoft® Windows Vista® Business — Microsoft® Windows Vista® Enterprise — Microsoft® Windows Vista® Ultimate
	[アプリケーションの終了]	—	持出しユーティリティを終了します。
[表示]	[持出しファイルのフルパス表示]	 フルパス表示	ファイル持出し一覧のパス表示の有り/無しを切り替えます。

メニューバー		ツールバー	機能概要
	[持出し先参照]	 持出し先参照	[持出し先の参照]画面を表示します。 持出しユーティリティを使用してUSBデバイスへ持ち出したファイルを参照できます(ドライブ、フォルダ、ファイルの一覧が参照できます)。
[ヘルプ]	[オンラインヘルプ]	 オンラインヘルプ	オンラインマニュアルを表示します。
	[バージョン情報]	—	著作権情報およびバージョン情報を表示します。

持ち出し方式選択ボタン

ポリシーの設定によっては、持ち出し方式選択ボタンが表示されない場合があります。

項目名	説明
[通常持出し]	ファイルやフォルダをそのまま持ち出すことができます。
[暗号化持出し]	ファイルやフォルダを暗号化して持ち出すことができます。

1.2 ファイルを持ち出す

CD/DVDメディア以外へファイルを持ち出す場合と、CD/DVDメディアへファイルを持ち出す場合に分けて説明します。

1.2.1 CD/DVDメディア以外へファイルを持ち出す

リムーバブルなどに、持出しユーティリティを使用して、ファイルやフォルダを持ち出す手順を説明します。



注意

ファイルの状態を確認してください

- 持出しユーティリティで持ち出すファイルは、他のアプリケーションからのアクセスがないようにしてください。持ち出し処理中に対象ファイルにアクセスがあった場合は、エラーが発生する可能性があります。
- 持ち出し先でそのファイルを復号する場合は、暗号化ファイルにはOSの実行権が必要です。実行権がない場合は復号できません。

手順は以下のとおりです。

- [ファイル持出しユーティリティ]画面を起動します。
- 持ち出すファイルまたはフォルダを、以下のいずれかの方法で追加します。
 - [ファイル持出しユーティリティ]画面のメニューを使用します。
 - ファイルを持ち出す場合は[ファイル]メニューから[ファイルの追加]を選択します。
フォルダを持ち出す場合は[ファイル]メニューから[フォルダの追加]を選択します。
→持出しファイルの選択画面が表示されます。
 - 持ち出すファイルまたはフォルダを選択し、[開く]ボタンをクリックします。

複数のファイルを持ち出す場合は、a、bを繰り返します。

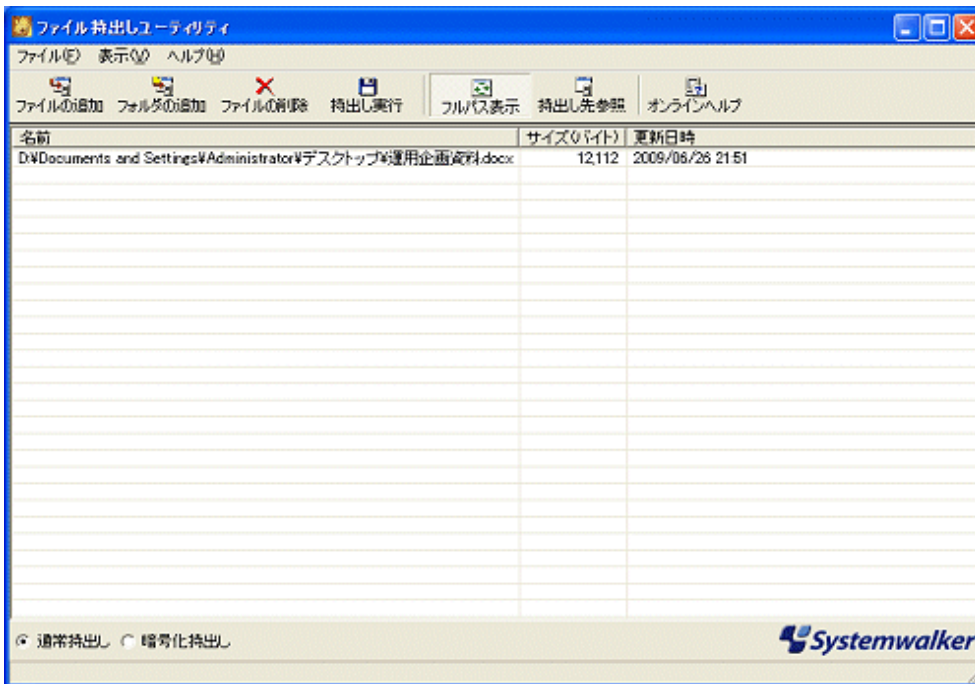
- 一 ファイルまたはフォルダを、[ファイル持出しユーティリティ]画面にドラッグ&ドロップします。

注意

Windows Vista®での実行について

Windows Vista®またはWindows Server® 2008で、持出しユーティリティ起動時に右クリックで[管理者として実行]した場合は、ドラッグ&ドロップはできません。ただし、管理者(Administrator)でログオンしている場合は、[管理者として実行]で起動しても、ドラッグ&ドロップできます。

→[ファイル持出しユーティリティ]画面が表示されます。



持ち出すフォルダを選択した場合は、そのフォルダ配下のファイルサイズ合計が[サイズ]に表示されます。

3. 持ち出し方式選択ボタン(画面左下)が表示されている場合は、[通常持出し]か[暗号化持出し]を選択します。
4. [ファイル]メニューから[持出し実行]を選択します。
ポリシーの設定によっては、持ち出し先のドライブとしてリムーバブルしか表示されない場合があります。
5. 実行の確認画面で[OK]ボタンをクリックします。
以降の操作は、【ファイルやフォルダを暗号化して持ち出す場合】と【ファイルやフォルダをそのまま持ち出す場合】に分けて説明します。

【ファイルやフォルダを暗号化して持ち出す場合】

→[暗号ファイル設定]画面が表示されます。

暗号ファイル設定

自己復号型暗号化ファイルを作成します。
暗号ファイル名と復号パスワードを指定して下さい。

以下の復号条件が設定されています。
条件に違反した場合、ファイル復号時に暗号ファイルが削除されます。

- ・パスワード試行回数 : 2回
- ・復号可能期限 : 2009/06/23

暗号ファイル名(フルパス):

パスワード(1~8文字で入力して下さい):

パスワード再入力:

項目名	説明
[パスワード試行回数]	許可されているパスワード試行回数が表示されます。 試行回数が無制限の場合は、“設定されていません”と表示されます。
[復号可能期限]	暗号化ファイルを復号できる期限が表示されます。 復号可能期限が無期限の場合は、“設定されていません”と表示されます。
[暗号ファイル名(フルパス)]	<p>持ち出すファイルまたはフォルダの、暗号化後のファイル名を指定します(UNCで指定することもできます)。</p> <p>[持出し実行]を行うと、[暗号ファイル名(フルパス)]に、持出し元([ファイル持出しユーティリティ]画面のファイル一覧)で設定した一番上位のファイル名またはフォルダ名を元に生成された暗号ファイル名が初期値として表示されます。 暗号ファイル名を変更する場合は、以下の方法で実施してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [暗号ファイル名(フルパス)]に直接入力します。 ・ [参照]ボタンをクリックして持ち出し先のドライブまたはフォルダを選択し、ファイル名を入力します。 <p>ファイル名の長さは218バイト(パス長含む)まで入力できます。 以下の記号は暗号ファイル名として使用できません。 「¥」「/」「:」「*」「?」「"」「<」「>」「 」</p> <p>暗号ファイル名の拡張子には、ポリシーで設定されている拡張子が自動的に付与されます。</p> <p>【マインドキュメントのリンク先の指定がUNCの場合】 [参照]ボタンをクリックし、マインドキュメントを選択した場合、[暗号ファイル設定]画面の[暗号ファイル名(フルパス)]に、マインドキュメントのリンク先で設定されたUNCの情報が表示されます。</p>
[パスワード]	持ち出したファイルを復号するときのパスワードを入力します。 画面に表示された文字数内で半角英数字および半角記号を入力できます。
[パスワード再入力]	上記[パスワード]と同じ値を入力します。

a. 以下の情報を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

- ・[暗号ファイル名(フルパス)]
- ・[パスワード]

- [パスワード再入力]
- b. ファイル持出しが終了すると以下の画面が表示されます(処理時間が長い場合は実行中を示す画面が表示されます)ので、[OK]ボタンをクリックします。

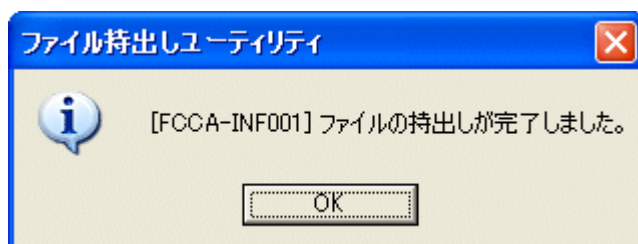


【ファイルやフォルダをそのまま持ち出す場合】

→[通常ファイル持出し先の選択]画面が表示されます。



- a. 持ち出し先を選択して、[OK]ボタンをクリックします。
- b. ファイル持出しが終了すると以下の画面が表示されます(処理時間が長い場合は実行中を示す画面が表示されます)ので、[OK]ボタンをクリックします。



1.2.2 CD/DVDメディアへファイルを持ち出す

CD/DVDに、持出しユーティリティを使用して、ファイルやフォルダを持ち出す手順を説明します。

持ち出しが可能なOS

CDメディアへのファイルの持ち出しが可能なOSは以下のとおりです。

- Microsoft® Windows® XP Professional(ServicePack2以降)
- Microsoft® Windows® XP Home Edition(ServicePack2以降)
- Microsoft® Windows Vista® Home Basic
- Microsoft® Windows Vista® Home Premium
- Microsoft® Windows Vista® Business
- Microsoft® Windows Vista® Enterprise
- Microsoft® Windows Vista® Ultimate

DVDメディアへのファイルの持ち出しが可能なOSは以下のとおりです。

- Microsoft® Windows Vista® Home Basic
- Microsoft® Windows Vista® Home Premium
- Microsoft® Windows Vista® Business
- Microsoft® Windows Vista® Enterprise
- Microsoft® Windows Vista® Ultimate

持ち出しできるCD/DVDの条件

- 持ち出し可能なメディアのタイプ:CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW
- 持ち出し可能なメディアの状態:ブランクメディア

ブランクメディアとは、以下のメディアのことを言います。

- 購入直後の未フォーマットのCD-R/RWメディアまたはDVD-R/RWメディアです。ただし、フォーマット済みのメディアなど一部特殊な場合を除きます。
- 一度書き込みを行い、持出しユーティリティによりCD-RW/DVD-RW消去を行ったCD-RW/DVD-RWメディアです。

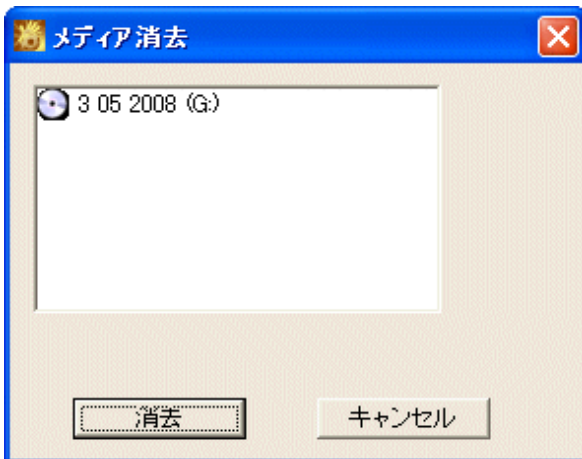
以下の方法でCD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RWのフォーマットを行う場合は、フォーマット後にファイルがないときでも、持ち出し可能なメディアとしては使用できません。

- パケットライト書き込みのために、UDFフォーマットした場合
- ストリーミング書き込みのために、CDFSフォーマットした場合

CD-RW/DVD-RW内の情報を消去する

CD-RW/DVD-RWメディアにすでに存在するデータを消去してそのCD/DVDにファイル持出しする場合は、持出しユーティリティを使用して、データを消去してください。データを消去する手順は、以下のとおりです。

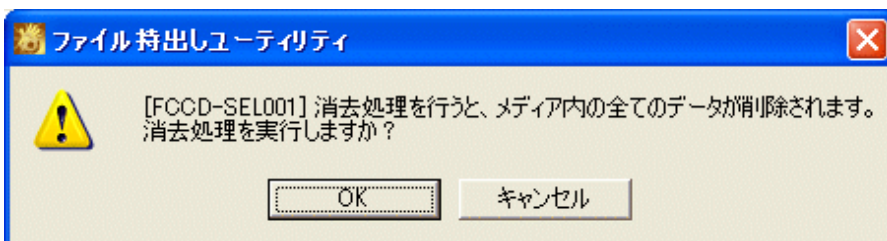
1. [ファイル持出しユーティリティ]画面を起動します。
2. [ファイル]メニューから[CD-RW/DVD-RW消去]を選択します。
→[メディア消去]画面が表示されます。



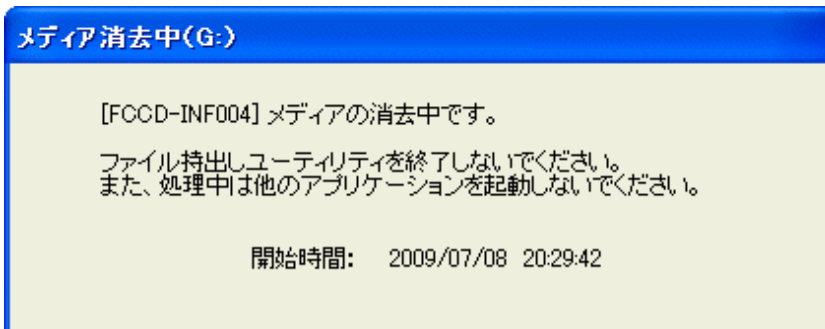
3. データを消去するメディアの入ったCD/DVDドライブを選択し、[消去]ボタンをクリックします。
→[メディア消去(ドライブ)]画面が表示されます。



- 高速にCD/DVDデータを消去する場合
→[クイック消去]を選択します。クイック消去は、PMA(Program Memory Area)とTOC(Table Of Contents)領域だけを消去します。
 - 完全にCD/DVDデータを消去する場合
→[完全消去]を選択します。完全消去は、CD/DVDのすべての領域を消去します。
 - 画面に表示されているCD/DVDの情報を更新する場合
→[メディア情報最新表示]ボタンをクリックします。再度、CD/DVDの[DISK全体容量]、[ボリューム名]が表示されます。
4. CD/DVDの消去形式を選択し、[消去開始]ボタンをクリックします。
→以下の確認画面が表示されます。



5. 消去する場合は[OK]ボタンをクリックします。
→[メディア消去中(ドライブ)]画面が表示され、データの消去処理が開始されます。



6. 処理が終了すると以下の画面が表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。



ファイルやフォルダを持ち出す

CD/DVDに、持出しユーティリティを使用して、ファイルやフォルダを持ち出す手順を説明します。

注意

ファイルの状態を確認してください

- 持出しユーティリティで持ち出すファイルは、他のアプリケーションからのアクセスがないようにしてください。持ち出し処理中に対象ファイルにアクセスがあった場合は、エラーが発生する可能性があります。
- 持ち出し先でそのファイルを復号する場合は、暗号化ファイルにはOSの実行権が必要です。実行権がない場合は復号できません。

1. [ファイル持出しユーティリティ]画面を起動します。
2. 持ち出すファイルまたはフォルダを、以下のいずれかの方法で追加します。

注意

持ち出し元のファイルやフォルダを選択するとき、持ち出し先の制限を考慮してください

持ち出し先のファイル名、フォルダ名の長さには、以下の制限があります。
このため、持ち出し操作を行う前に、持ち出そうとしているファイル名やフォルダ名の長さを調べ、これらが、持ち出し先の制限内に収まっていることを確認する必要があります。
特に、フォルダを持ち出す場合、配下のファイルが制限を超えていると、エラーとなり、持ち出すことができないので、注意が必要です。

【持ち出し先のファイル名、フォルダ名の長さについて】

持ち出し先のファイル名の長さは240バイト(パス長含む)まで入力できます(バイト数はフォルダ区切り文字(¥)は1バイト、ファイル名、フォルダ名は1文字2バイトとして計算してください)。
また、ファイル名、フォルダ名は、それぞれ64文字(全角半角とも1文字として計算)以内で指定してください。

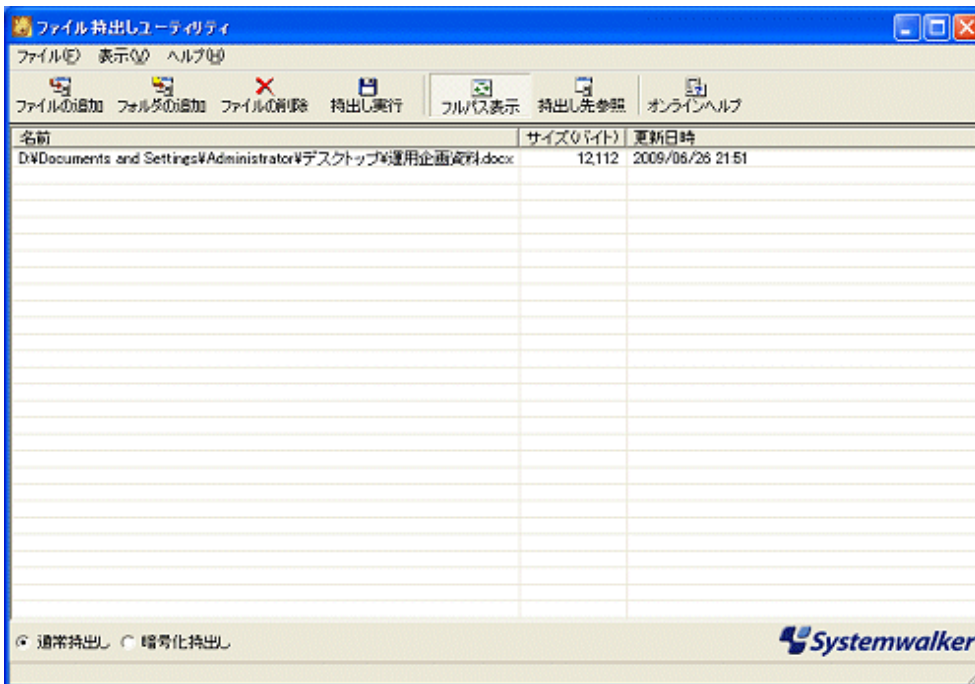
- 一 [ファイル持出しユーティリティ]画面のメニューを使用します。
 - a. ファイルを持ち出す場合は[ファイル]メニューから[ファイルの追加]を選択します。
フォルダを持ち出す場合は[ファイル]メニューから[フォルダの追加]を選択します。
→持出しファイルの選択画面が表示されます。
 - b. 持ち出すファイルまたはフォルダを選択し、[開く]ボタンをクリックします。
複数のファイルを持ち出す場合は、a、bを繰り返します。
- 一 ファイルまたはフォルダを、[ファイル持出しユーティリティ]画面にドラッグ&ドロップします。

注意

Windows Vista®での実行について

Windows Vista®で、持出しユーティリティ起動時に右クリックで[管理者として実行]した場合は、ドラッグ&ドロップはできません。ただし、管理者(Administrator)でログオンしている場合は、[管理者として実行]で起動しても、ドラッグ&ドロップできます。

→[ファイル持出しユーティリティ]画面が表示されます。



持ち出すフォルダを選択した場合は、そのフォルダ配下のファイルサイズ合計が[サイズ]に表示されます。

3. 持ち出し方式選択ボタン(画面左下)が表示されている場合は、[通常持出し]か[暗号化持出し]を選択します。
4. [ファイル]メニューから[持出し実行]を選択します。
ポリシーの設定によって、持ち出し先のドライブとしてリムーバブルしか表示されない場合があります。
5. 実行の確認画面で[OK]ボタンをクリックします。
以降の操作は、【ファイルやフォルダを暗号化して持ち出す場合】と【ファイルやフォルダをそのまま持ち出す場合】に分けて説明します。

【ファイルやフォルダを暗号化して持ち出す場合】

→[暗号ファイル設定]画面が表示されます。

暗号ファイル設定

自己復号型暗号化ファイルを作成します。
暗号ファイル名と復号パスワードを指定して下さい。

以下の復号条件が設定されています。
条件に違反した場合、ファイル復号時に暗号ファイルが削除されます。

- ・パスワード試行回数 : 2回
- ・復号可能期限 : 2009/06/23

暗号ファイル名(フルパス):

パスワード(1~8文字で入力して下さい):

パスワード再入力:

項目名	説明
[パスワード試行回数]	許可されているパスワード試行回数が表示されます。 試行回数が無制限の場合は、“設定されていません”と表示されます。
[復号可能期限]	暗号化ファイルを復号できる期限が表示されます。 復号可能期限が無期限の場合は、“設定されていません”と表示されます。
[暗号ファイル名(フルパス)]	持ち出すファイルまたはフォルダの、暗号化後のファイル名を指定します。 [持出し実行]を行うと、[暗号ファイル名(フルパス)]に、持ち出し元([ファイル持出しユーティリティ]画面のファイル一覧)で設定した一番上位のファイル名またはフォルダ名を元に生成された暗号ファイル名が初期値として表示されます。 暗号ファイル名を変更する場合は、以下の方法で実施してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [暗号ファイル名(フルパス)]に、持ち出すCD/DVDドライブ名を指定した暗号ファイル名を直接入力します。 ・ [参照]ボタンをクリックして持ち出し先のCD/DVDドライブを選択し、ファイル名を入力します。 <p>ファイル名の長さは240バイト(パス長含む)まで入力できます(バイト数はフォルダ区切り文字(¥)は1バイト、ファイル名、フォルダ名は1文字2バイトとして計算してください)。 また、ファイル名、フォルダ名は、それぞれ64文字(全角半角とも1文字として計算)以内で指定してください。 以下の記号は暗号ファイル名として使用できません。 「¥」「/」「:」「;」「*」「?」「"」「<」「>」「 」</p>
[パスワード]	持ち出したファイルを復号するときのパスワードを入力します。 画面に表示された文字数内で半角英数字および半角記号を入力できます。
[パスワード再入力]	上記[パスワード]と同じ値を入力します。

- a. 以下の情報を入力し、[OK]ボタンをクリックします。
- ・[暗号ファイル名(フルパス)]
 - ・[パスワード]
 - ・[パスワード再入力]

→[書き込み設定]画面が表示されます。

書き込み設定

ボリューム名 : 20080418114816

書き込み終了後イジェクトする

メディアタイプ : CD-RW

暗号ファイル名 : G¥ angou.exe

ディスク使用状況: 全体容量: 702 MB 使用済容量: 0 MB 空き容量: 702 MB

メディア情報最新表示 書き込み開始 キャンセル

b. 以下の情報を入力し、[書き込み開始]ボタンをクリックします。

項目名	説明
[ボリューム名]	書き込むCD/DVDのCD/DVD名を入力します。 CD/DVD名の長さは16文字以内で半角英大文字、数字および_(アンダースコア)を入力できます。 初期値として[書き込み設定]画面が表示された年月日時分秒(14文字)が設定されます。
[書き込み終了後イジェクトする]	書き込み終了後にメディアをイジェクトする場合はチェックします。

書き込み可能なCD/DVDメディアが挿入されている場合は、CD/DVDメディアの情報(全体容量、使用済容量、空き容量)が表示されています。最新の情報を表示する場合は[メディア情報最新表示]ボタンをクリックしてください。

→[書き込み中]画面が表示されます。

書き込み中

[FCCD-INF003]メディアへの書き込み中です。

ファイル持出しユーティリティを終了しないでください。
また、処理中は他のアプリケーションを起動しないでください。

開始時間: 2009/07/08 20:45:29

書き込み終了処理中

c. ファイル持出しが終了すると以下の画面が表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。

ファイル持出しユーティリティ

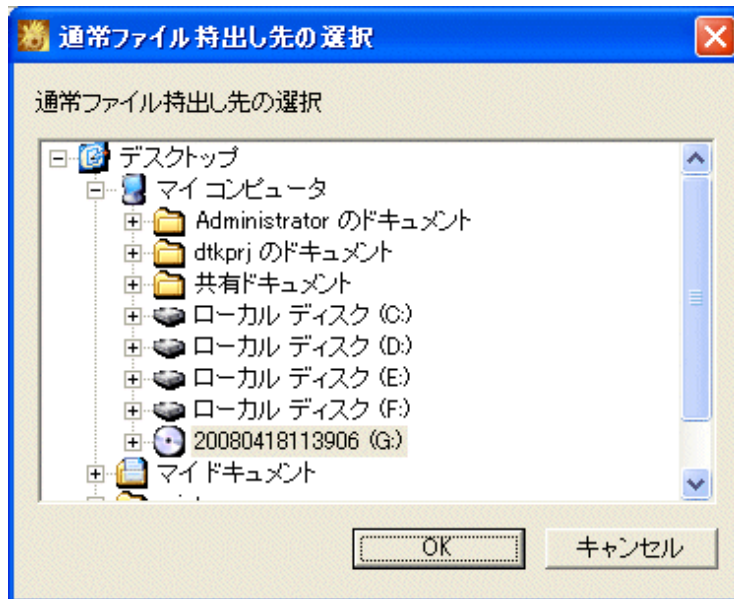
[FCCD-INF001] メディアへのファイルの持出しが完了しました。

OK

CD/DVDメディアに書き込みした直後に、CD/DVDドライブにアクセスすると、メディアの情報を参照できない場合があります。その場合、一度メディアをイジェクトし、再度メディアを挿入してください。

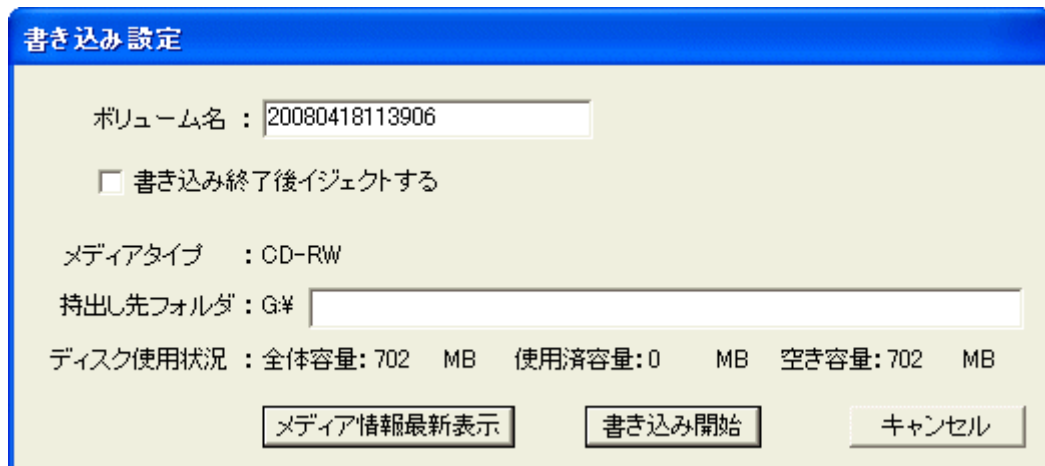
【ファイルやフォルダをそのまま持ち出す場合】

→[通常ファイル持出し先の選択]画面が表示されます。



- a. 持ち出し先としてCD/DVDドライブを選択して、[OK]ボタンをクリックします。

→[書き込み設定]画面が表示されます。



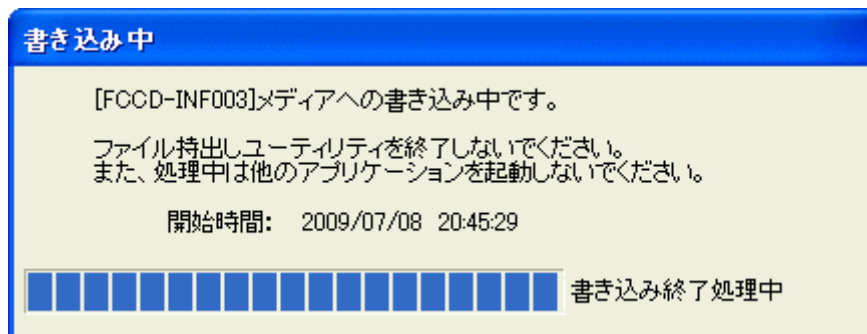
- b. 以下の情報を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

項目名	説明
[ボリューム名]	書き込むCD/DVDのCD/DVD名を入力します。 CD/DVD名の長さは16文字以内で半角英大文字、数字および_(アンダースコア)を入力できます。 初期値として[書き込み設定]画面が表示された年月日時分秒(14文字)が設定されます。
[書き込み終了後イジェクトする]	書き込み終了後にメディアをイジェクトする場合はチェックします。
[持出し先フォルダ]	持ち出し先のCD/DVDにフォルダを作成する場合は作成するフォルダ名を入力します。 入力できるフォルダの長さは最大64文字(半角・全角とも1文字)です。 また、ファイルも含めたパス長が240バイト以内になるように指定してく

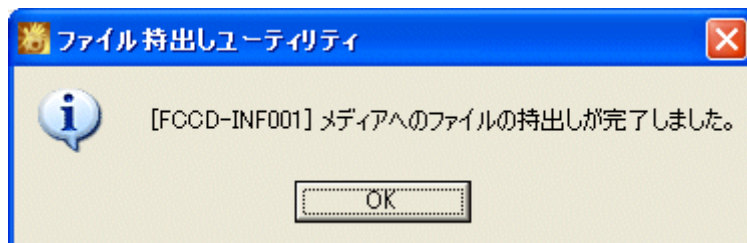
項目名	説明
	ださい(バイト数はフォルダ区切り文字(¥)は1バイト、ファイル名、フォルダ名は1文字2バイトとして計算してください)。

書き込み可能なCD/DVDメディアが挿入されている場合はCD/DVDメディアの情報(全体容量、使用済容量、空き容量)が表示されています。最新の情報を表示する場合は[メディア情報最新表示]ボタンをクリックしてください。

→[書き込み中]画面が表示されます。



- c. ファイル持出しが終了すると以下の画面が表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。

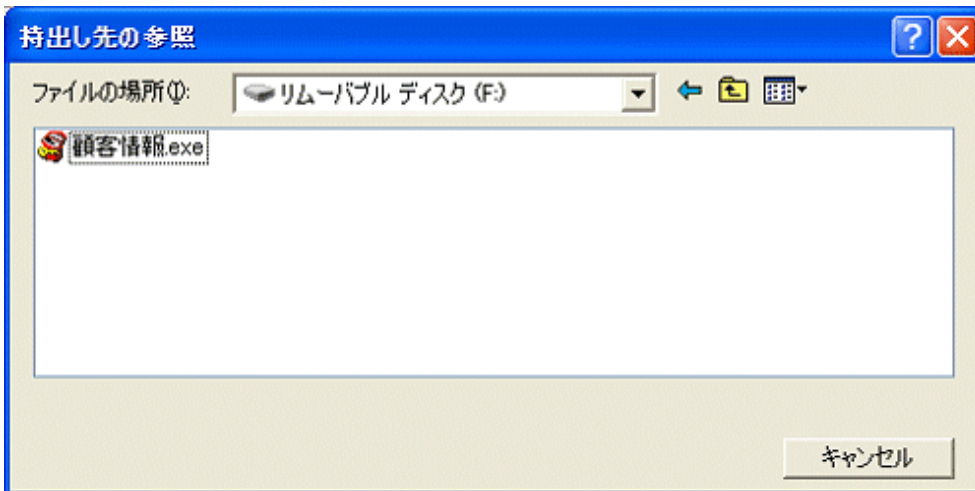


CD/DVDメディアに書き込みした直後に、CD/DVDドライブにアクセスすると、メディアの情報を参照できない場合があります。その場合、一度メディアをイジェクトし、再度メディアを挿入してください。

1.3 持出し先のファイルを確認する

持ち出し操作完了後、持ち出し先のフォルダやファイルを一覧で確認します。ポリシーの設定によって、エクスプローラで確認できる場合とできない場合があります。エクスプローラで確認できない場合は、以下の手順で確認してください。

1. [ファイル持出しユーティリティ]画面を起動します。
 2. 以下のいずれかの方法で[持出し先の参照]画面を起動します。
 - － [表示]メニューから[持出し先参照]を選択します。
 - － ツールバーで[持出し先参照]を選択します。
- 持出し先のファイル一覧が表示されます。



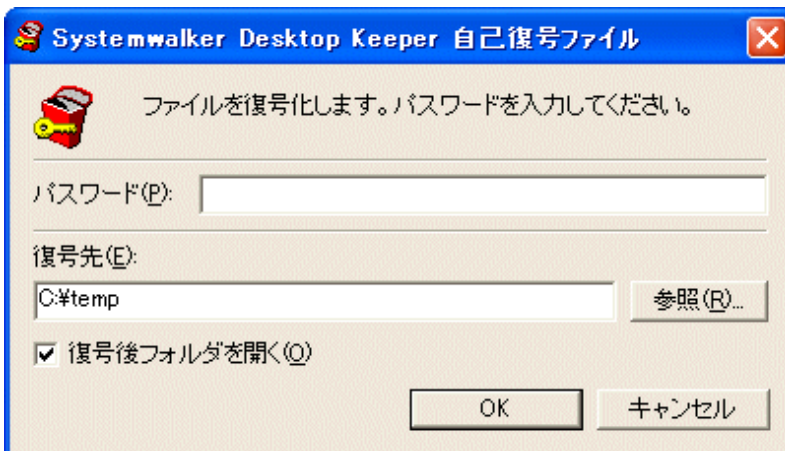
3. 持出したファイル名を確認します。

1.4 持出しファイルを復号する

“1.2 ファイルを持ち出す”で暗号化されたファイルを持ち出したときに、そのファイルを復号する手順を説明します。

1. 自己復号ファイルの拡張子がexe以外で設定されている場合は、exeに変更します。
2. 持ち出したファイルをダブルクリックします。

→[Systemwalker Desktop Keeper 自己復号ファイル]画面が表示されます。



項目名	説明
[パスワード]	ファイルやフォルダを持ち出すときに入力したパスワードを入力します。
[復号先]	復号されたファイルやフォルダを格納する場所を入力します。
[復号後フォルダを開く]	[復号先]で指定したフォルダを、復号したあとに開く場合にチェックします。

3. 上記の情報を入力し、[OK]ボタンをクリックします。
→持ち出したファイルやフォルダが復号されます。

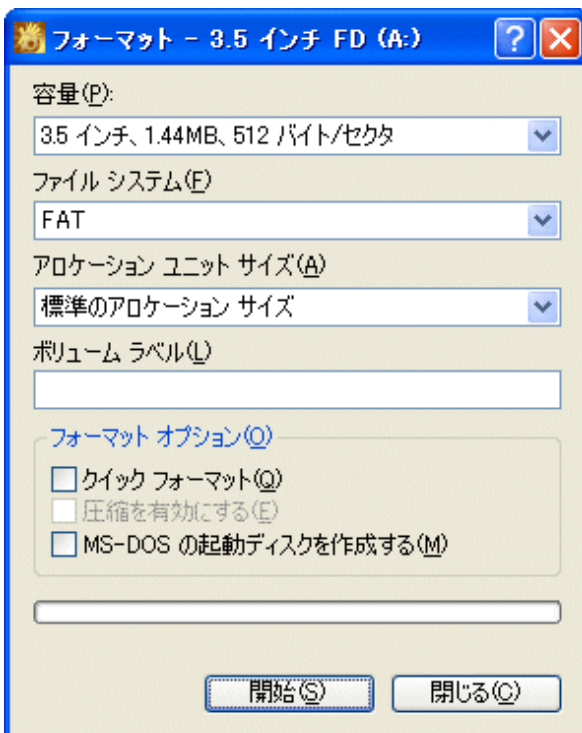
1.5 ドライブをフォーマットする

ドライブのフォーマット手順を、以下に説明します。

1. [ファイル持出しユーティリティ]画面を起動します。
2. [ファイル]メニューから[ドライブのフォーマット]を選択します。
→[ドライブフォーマット]画面が表示されます。

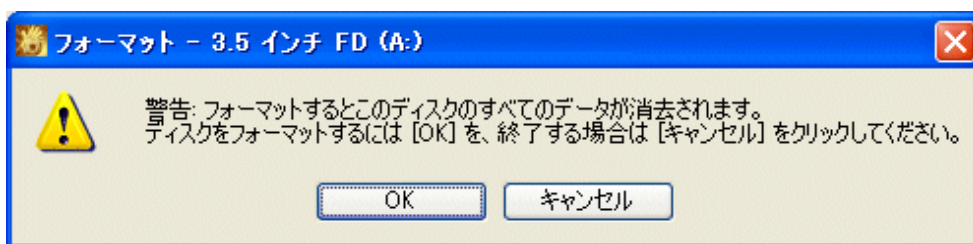


3. フォーマットするドライブを選択し、[フォーマット]ボタンをクリックします。
OSがインストールされているドライブを、選択しないでください。
→[フォーマット]画面が表示されます。



4. [フォーマット オプション]でフォーマット方法を選択し、[開始]ボタンをクリックします。

5. 警告画面が表示されますので、内容を確認後、[OK]ボタンをクリックします。



第2章 暗号化したファイルを自動添付して、メール送信する

暗号化したファイルをメール添付して送信する場合、ファイルを暗号化し、操作しているPC標準のメールソフト(※)のメール作成画面に暗号ファイルが添付された状態でメールソフトを自動起動できます。

これは、「持出しユーティリティを使用して自己復号型暗号ファイルを作成し、メールに添付する」操作を自動化したものです。

エラーメッセージは、タスクトレイに表示されます。

※)PC標準のメールソフトとは、[コントロールパネル]-[インターネットオプション]起動時に表示される[インターネットのプロパティ]画面の[プログラム]タブの[電子メール]に表示されているメールソフトです。
標準のメールソフトが設定されていないPCでは、本機能を使用できません。

暗号ファイルの自動添付が可能なOS

暗号ファイルの自動添付が可能なOSは以下のとおりです。

- Microsoft® Windows® XP Professional(ServicePack2以降)
- Microsoft® Windows® XP Home Edition(ServicePack2以降)
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Standard Edition
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Standard Edition
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise Edition
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Enterprise Edition
- Microsoft(R) Windows Vista(R) Home Basic
- Microsoft(R) Windows Vista(R) Home Premium
- Microsoft(R) Windows Vista(R) Business
- Microsoft(R) Windows Vista(R) Enterprise
- Microsoft(R) Windows Vista(R) Ultimate
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008, Standard Edition
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008, Enterprise Edition
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard without Hyper-V(TM)
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise without Hyper-V(TM)

Windows Vista®およびWindows Server® 2008のx64 Editionでは、32bit互換モードで動作します。

暗号化するファイルの条件

暗号化するファイルのフルパス長は218バイト以下でなければなりません。

暗号化するファイルは複数選択できます。ただし、フルパス長が218バイトを超えたファイルが1つでもある場合は、暗号化できません。

暗号化したファイルを自動添付する

手順は以下のとおりです。

1. 暗号化するファイルを選択し、マウスを右クリックします。
2. コンテキストメニューの[送る]-[メール受信者(暗号化)]を選択します。
→[暗号ファイル設定]画面が表示されます。

暗号ファイル設定

自己復号型暗号化ファイルを作成します。
暗号ファイル名と復号パスワードを指定して下さい。

以下の復号条件が設定されています。
条件に違反した場合、ファイル復号時に暗号ファイルが削除されます。

- ・パスワード試行回数 : 2回
- ・復号可能期限 : 2009/06/23

暗号ファイル名(フルパス):

パスワード(1~8文字で入力して下さい):

パスワード再入力:

項目名	説明
[パスワード試行回数]	許可されているパスワード試行回数が表示されます。 試行回数が無制限の場合は、“設定されていません”と表示されます。
[復号可能期限]	暗号化ファイルを復号できる期限が表示されます。 復号可能期限が無期限の場合は、“設定されていません”と表示されます。
[暗号ファイル名(フルパス)]	選択したファイル名が初期値として表示されます。 複数のファイルを選択した場合は、Systemwalker Desktop Keeperが最初に認識したファイル名が表示されます。複数選択した場合でも、生成される暗号ファイルは1つです。 暗号ファイル名を変更する場合、ファイル名の長さは218バイト(パス長含む)まで入力できます。 以下の記号は暗号ファイル名として使用できません。 「¥」「/」「:」「*」「?」「"」「<」「>」「 」 暗号ファイル名の拡張子には、ポリシーで設定されている拡張子が自動的に付与されます。
[パスワード]	持ち出したファイルを復号するときのパスワードを入力します。 画面に表示された文字数内で半角英数字および半角記号を入力できます。
[パスワード再入力]	上記[パスワード]と同じ値を入力します。

3. 作成する暗号ファイル名の確認および以下の情報を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

ー [パスワード]

ー [パスワード再入力]

→選択したファイルが暗号化され、暗号ファイルが添付された状態でメール作成画面が表示されます。

注意

暗号ファイルを添付したメールは、ログオフするまでに送信してください。

暗号化されたファイルがPC上に存在するのは、ユーザーがログオンしている間だけです。

複数のメール作成画面を起動すると、2つ目以降の起動がエラーとなる場合があります。

複数のメール作成画面を起動した場合、使用するメールソフトにより、2つ目以降の起動がエラーとなり起動できない場合があります。エラーが発生する場合は、1つめのメールを送信するか保存するなどして画面を閉じた後に次の作成画面を起動してください。



付録A メッセージ一覧

Systemwalker Desktop Keeperで出力されるメッセージについて説明します。

A.1 インストール時に出力されるメッセージ

[I401-ERR001] Systemwalker Desktop Keeper クライアントをインストールすることができません。対象OSおよびServicePackを確認してください。インストールを中止します。

原因

「適用外のOSまたはServicePack」にインストールしています。

対処

「適用OSまたはServicePack」へインストールしてください。

[I401-ERR003] InstConf.iniファイルを見つけることができませんでした。InstConf.iniファイルのパスを指定してください。インストールを中止します。

原因

Setup.exe実行時に指定するInstConf.iniファイルのパスに誤りがあります。

対処

InstConf.iniファイルのパスを正しく指定してください。

[I401-ERR004] InstConf.iniから%sの値を読み込めませんでした。再度インストールを行ってください。インストールを中止します。

可変情報

%s : 読み込みに失敗した以下のいずれかのセクション名

- SvIPAddress
- SvIPAddress2
- CommPort
- SendPort
- SendPort2
- Password
- LogDirectory
- RebootAfterInstall
- ClientDirectory
- PrinterMode
- MailSendWatchPort
- MailAttachDeterrentMode
- MailAttachDeterrentPort
- MailAttachDeterrentPort2

原因

InstConf.iniに記述する%sを読み込めません。

対処

InstConf.iniファイルのパス、内容を確認してください。

[I401-ERR005] InstConf.iniファイルの中の、%sの値が正しくありません。正しい値を記述してください。インストールを中止します。

可変情報

%s : 値に誤りがある以下のいずれかのセクション名

- SvIPAddress
- SvIPAddress2
- CommPort
- SendPort
- SendPort2
- Password
- LogDirectory
- RebootAfterInstall
- ClientDirectory
- PrinterMode
- MailSendWatchPort
- MailAttachDeterrentMode
- MailAttachDeterrentPort
- MailAttachDeterrentPort2

原因

InstConf.iniに記述する%sの値が正しく記述されていません。

対処

InstConf.iniファイルに正しく記述してください。

[I401-ERR006]%sファイルのコピーに失敗しました。

- ディスク容量が不足している
- 該当ディスクが書き込み禁止である
- 同名のファイルがすでに存在する

などの原因が考えられます。

確認後、再インストールしてください。

インストールを中止します。

可変情報

%s : コピーに失敗したファイル名

原因

ディスク容量が不足している、該当ディスクが書き込み禁止である、同名のファイルがすでに存在するなどの理由で、ファイルのコピーに失敗しました。

対処

ディスク容量が不足していないか、該当ディスクが書き込み禁止になっていないか、同名のファイルが存在しないかを確認後、再インストールしてください。

[I401-ERR007] %sフォルダの作成に失敗しました。

- ・ディスク容量が不足している
- ・該当ディスクが書き込み禁止である
- ・同名のフォルダがすでに存在する

などの原因が考えられます。

確認後、再インストールしてください。

インストールを中止します。

可変情報

%s : 作成に失敗したフォルダ名

原因

ディスク容量が不足している、該当ディスクが書き込み禁止である、同名のフォルダがすでに存在するなどの理由で、フォルダの作成に失敗しました。

対処

ディスク容量が不足していないか、該当ディスクが書き込み禁止になっていないか、同名のフォルダが存在しないかを確認後、再インストールしてください。

[I401-ERR008] レジストリの値の読み込みに失敗しました。システム管理者に連絡してください。インストールを中止します。

原因

レジストリの値の読み込みに失敗しました。

対処

レジストリの値が削除されたなどの原因で発生します。富士通技術員に連絡してください。

[I401-ERR009] レジストリの作成に失敗しました。Administrator権限のあるユーザーでログオン後、再度インストールしてください。インストールを中止します。

原因

レジストリの値の作成に失敗しました。

対処

Administrator権限のあるユーザーでログオン後、再度インストールしてください。

[I401-ERR010] インストールするユーザーがAdministrator権限がありません。Administrator権限のあるユーザーでログオン後、再度インストールしてください。インストールを中止します。

原因

インストールするユーザーにAdministrator権限がありません。

対処

Administrator権限のあるユーザーでログオン後、再度インストールしてください。

[I401-ERR011] Systemwalker Desktop Keeper クライアントのインストールに失敗しました。インストールログファイル内のエラー内容を確認してください。インストールログファイル:[%s]。インストールを中止します。

可変情報

%s : インストールログファイル名

原因

サイレントインストール実行時に何らかのエラーが発生した場合に表示されます。

対処

メッセージに表示されているパスのインストールログファイル内のエラー内容を確認してください。

[I401-ERR012] サービスの登録に失敗しました。システム管理者に連絡してください。インストールを中止します。

原因

CTサービスの登録に失敗しました。

対処

システム管理者に連絡してください。

[I401-ERR019] %1のインストールが完了しましたが、エラーが発生しています。インストールログファイル内のエラー内容を確認してください。インストールログファイル:[%2]。インストールを終了します。

可変情報

%1 : インストール機能名

%2 : インストールログファイル名

原因

インストールが終了しましたが、なんらかのエラーが発生しています。

対処

メッセージに表示されているパスのインストールログファイル内のエラー内容を確認してください。

[I401-ERR020] Citrix XenAppがインストールされています。Citrix XenAppがインストールされている環境にSystemwalker Desktop Keeper クライアントはインストールできません。インストールを中止します。

原因

Citrix XenAppがインストールされています。

対処

Citrix XenAppがインストールされている環境にSystemwalker Desktop Keeper クライアントはインストールできません。Citrix XenApp監視機能をインストールしてください。

[I401-ERR101] Systemwalker Desktop Keeper サーバがすでにインストールされています。サーバをアンインストール後、再度インストールをしてください。インストールを中止します。

原因

Systemwalker Desktop Keeperサーバがすでにインストールされています。

対処

Systemwalker Desktop Keeperサーバをアンインストール後、再度インストールしてください。

[I401-ERR102] Secure Keeper クライアントがすでにインストールされています。Secure Keeperをアンインストール後、再度インストールをしてください。インストールを中止します。

原因

Secure Keeperクライアントがすでにインストールされています。

対処

Secure Keeperクライアントをアンインストール後、再度インストールしてください。

[I401-ERR103] コマンドプロンプトの置き換えに失敗しました。システム管理者に連絡してください。

原因

コマンドプロンプトのショートカットの置換えに失敗しました。

対処

コマンドプロンプトのショートカットのリンク先をWindowsシステムフォルダの「fsw41ej1.exe」に変更してください。

[I401-ERR104] コマンドプロンプトの複製に失敗しました。システム管理者に連絡してください。インストールを中止します。

原因

コマンドプロンプトの複製に失敗しました。

対処

コマンドプロンプトの複製を手動で行ってください。

NT系の場合:cmd.exe → fsw00ej2.exe(システムディレクトリ内。例:C:¥winnt¥system32¥cmd.exe → C:¥winnt¥system32¥fsw00ej2.exe)

9X系の場合:Command.com → fsw00ej1.com(Windowsディレクトリ内。例:C:¥windows¥Command.com → C:¥windows¥fsw00ej1.exe)

[I401-ERR106] 前回のインストール・アンインストールが完了していません。再起動した後に再度インストールしてください。インストールを中止します。

原因

前回のインストール・アンインストール後、再起動されていません。

対処

再起動後、インストールしてください。

[I401-ERR107] インストールのパラメーターが指定されました。Desktop Keeper クライアントはすでにインストールされています。インストールを中止します。

原因

Desktop Keeper クライアントがすでにインストールされている状態で、再度インストールを実行しました。

対処

—

[I401-ERR108] Systemwalker Desktop Keeper Standard Editionのクライアントがインストールされている端末に、Base Editionのクライアントをインストールしようとした。Standard EditionのクライアントをBase Editionのクライアントでアップデートすることはできません。インストールを中止します。

原因

Systemwalker Desktop Keeper Standard Editionのクライアントがインストールされている端末に、Base Editionのクライアントをインストールしようとした。

対処

Systemwalker Desktop Keeper Standard EditionのクライアントをBase Editionのクライアントでアップデートすることはできません。Standard Editionのクライアントでアップデートしてください。

[I401-ERR109] 選択フォルダとして、ドライブのルートまたは固定ディスク以外のドライブは指定できません。正しいフォルダを指定してください。

原因

選択フォルダとして、ドライブのルートまたは固定ディスク以外のドライブを指定しました。

対処

固定ディスクのルート以外のフォルダを指定してください。

[I401-ERR110] 以前のVLの Systemwalker Desktop Keeper サーバがインストールされているか、またはBase Editionのサーバに対してStandard Editionのクライアントをインストールしようとした。サーバをバージョンアップまたはエディションアップしてください。インストールを中止します。

原因

以前のVLの Systemwalker Desktop Keeper サーバがインストールされているか、またはBase Editionのサーバに対してStandard Editionのクライアントをインストールしようとした。

対処

サーバをバージョンアップまたはエディションアップしてください。

[I401-ERR113] InstConf.iniファイルの中のパスワードには32文字以内の文字を入力してください。インストールを中止します。

原因

InstConf.iniファイル内のパスワードに33文字以上の文字列が入力されています。

対処

32文字以内のパスワードを入力してください。

[I401-ERR117] Citrix XenApp監視機能がすでにインストールされています。アンインストール後、再度インストールしてください。インストールを中止します。

原因

Citrix XenApp監視機能がすでにインストールされています。

対処

Citrix XenApp監視機能をアンインストール後、再度インストールしてください。

[I401-WRN001] ログ格納フォルダのドライブが禁止ドライブとして指定された場合、ログが正常に採取できない可能性があります。OSインストールドライブのフォルダを指定することを推奨します。続行しますか？

原因

ログ格納フォルダとして、OSインストールドライブ以外のドライブを指定した場合に表示されます。

対処

ログ格納フォルダにはOSインストールドライブのフォルダを指定することを推奨します。

[I401-WRN002] 現在インストールされているクライアントに対して上書きインストールを実施する場合、再起動するまで一部の機能が動作しません。インストール完了後は速やかに再起動してください。

原因

V12.0L20 BE～V13.0.0のクライアントに対して上書きインストールを実施した場合に表示されます。

対処

上書きインストール完了後は速やかに再起動を実施してください。

[I411-ERR001] IPアドレスの値として正しくありません。1 から 254 までの値を入力してください。

原因

IPアドレスに1～254以外の数字、または数字以外の文字が入力されています。

対処

1 から 254 までの値を入力してください。

[I411-ERR002] IPアドレスの値として正しくありません。0 から 255 までの値を入力してください。

原因

IPアドレスに0～255以外の数字、または数字以外の文字が入力されています。

対処

0 から 255 までの値を入力してください。

[I411-ERR003] ポート番号の値として正しくありません。5001 から 60000 までの値を入力してください。

原因

ポート番号に5001～60000以外の数字、または数字以外の文字が入力されています。

対処

5001 から 60000 までの値を入力してください。

[I411-ERR004] IPアドレスが正しくありません。正しい値を入力してください。

原因

IPアドレスの書式が正しくありません。

対処

正しい書式のIPアドレスを入力してください。

[I411-ERR005] パスワードが一致しません。正しいパスワードを入力してください。

原因

入力したパスワードと再入力したパスワードが一致しません。

対処

正しいパスワードを入力してください。

[I411-ERR006] ログファイルの格納先が正しくありません。正しい値を入力してください。

原因

ログファイルの格納先を入力せずに次の画面に進もうとしました。

対処

正しいログファイルの格納先を入力してください。

[I411-ERR008] パスワードが入力されていません。パスワードを入力してください。

原因

パスワードが入力されていません。

対処

パスワードを入力してください。

**[I411-ERR009] パスワードとして使用できない文字を入力しています。入力できる文字は、半角英数字および以下の記号以外の記号です。なお、全角および半角の空白は入力できません。
入力できない記号:「&」「<」「>」「|」「¥」「"」「^」「~」「'」「?」「:」**

原因

パスワードに使用できない文字が入力されています。

対処

パスワードに使用できる文字だけを入力してください。

[I411-ERR010] ディレクトリ名として使用できない記号を入力しています。入力できる記号は、以下の記号以外の記号です。

入力できない記号:「#」「%」「/」「:」「*」「?」「"」「<」「>」「|」

原因

ディレクトリ名に使用できない文字が入力されています。

対処

ディレクトリ名に使用できる文字だけを入力してください。

[I411-ERR012] サーバと同居しない場合にはループバックアドレス(127.0.0.1)は指定できません。正しいアドレスを入力してください。

原因

サーバと非同居時に、サーバのIPアドレスとしてループバックアドレス(127.0.0.1)を指定しました。

対処

正しいサーバのIPアドレスを入力してください。

[I411-ERR018] 32文字以内のパスワードを入力してください。

原因

パスワードを33文字以上入力しようとしていました。

対処

32文字以内のパスワードを入力してください。

[I411-ERR019] ポート番号が重複しています。異なる値を入力してください。

原因

ポート番号が重複しています。

対処

重複しているポート番号に異なる値を入力してください。

[I411-ERR020] ポート番号の値として正しくありません。0 から 65535 までの値を入力してください。

原因

ポート番号に0～65535以外の数字、または数字以外の文字が入力されています。

対処

0 から 65535 までの値を入力してください。

[I411-ERR021] 指定したフォルダのパス長が長すぎます。パス長が96バイト以内のパスを指定してください。

原因

指定したフォルダのパス長が長すぎます。

対処

パス長が96バイト以内のパスを指定してください。

[I421-ERR001] コマンドラインからパラメーターを読みませんでした。パラメーターを確認後、再度インストールを行ってください。インストールを中止します。

原因

コマンドラインからパラメーターを読みませんでした。

対処

パラメーターを確認後、再度インストールしてください。

[I421-ERR002] コマンドラインで指定したパラメーターの書式が正しくありません。正しい書式で記述してください。

ex. CTサイレントインストールファイルを指定する場合 > Setup.exe /Silent "C:%InstConf.ini"

CTサイレントインストールファイルを指定しない場合 > Setup.exe /Silent "Reboot:1"

インストールを中止します。

原因

パラメーターの書式が正しくありません。

対処

パラメーターの書式を正しく記述してください。

[I421-ERR003] パラメーター「Reboot」の値が正しくありません。正しい値を入力してください。インストールを中止します。

原因

パラメーター「Reboot」の値が正しくありません。

対処

正しい値を入力してください。

[I431-ERR001] Systemwalker Desktop Keeper クライアントがインストールされていません。クライアントをインストール後、再度更新処理を行ってください。更新処理を中止します。

原因

Systemwalker Desktop Keeper クライアントがインストールされていません。

対処

クライアントをインストール後、再度更新処理を行ってください。

[I999-ERR999] エラーが発生しました。システム管理者に連絡してください。

原因

インストーラが壊れているなどの原因が考えられます。

対処

富士通技術員に連絡してください。

A.2 アンインストール時に出力されるメッセージ

[I402-ERR001] %sファイルの削除に失敗しました。システム管理者に連絡してください。

可変情報

%s : 削除に失敗したファイル名

原因

ファイルの削除に失敗しました。

対処

該当のファイルを手動で削除してください。

[I402-ERR002] %sフォルダの削除に失敗しました。システム管理者に連絡してください。

可変情報

%s : 削除に失敗したフォルダ名

原因

フォルダの削除に失敗しました。

対処

該当のフォルダを手動で削除してください。

[I402-ERR003] レジストリの値の読み込みに失敗しました。システム管理者に連絡してください。アンインストールを中止します。

原因

レジストリの値の読み込みに失敗しました。

対処

レジストリの値が削除されたなどの原因で発生します。富士通技術員に連絡してください。

[I402-ERR004] レジストリの作成に失敗しました。Administrator権限のあるユーザーでログオン後、再度アンインストールしてください。アンインストールを中止します。

原因

レジストリの値の作成に失敗しました。

対処

Administrator権限のあるユーザーでログオン後、再度アンインストールしてください。

[I402-ERR005] レジストリの削除に失敗しました。Administrator権限のあるユーザーでログオン後、再度アンインストールしてください。アンインストールを中止します。

原因

レジストリの値の削除に失敗しました。

対処

Administrator権限のあるユーザーでログオン後、再度アンインストールしてください。

[I402-ERR006] アンインストールするユーザーがAdministrator権限がありません。Administrator権限のあるユーザーでログオン後、再度アンインストールしてください。アンインストールを中止します。

原因

アンインストールするユーザーにAdministrator権限がありません。

対処

Administrator権限のあるユーザーでログオン後、再度アンインストールしてください。

[I402-ERR007] Systemwalker Desktop Keeper クライアントのアンインストールに失敗しました。インストールログファイル内のエラー内容を確認してください。インストールログファイル:[%s]。アンインストールを中止します。

可変情報

%s : インストールログファイル名

原因

サイレントアンインストール実行時に何らかのエラーが発生した場合に表示されます。

対処

メッセージに表示されているパスのインストールログファイル内のエラー内容を確認してください。

[I402-ERR008] サービスの削除に失敗しました。システム管理者に連絡してください。アンインストールを中止します。

原因

CTサービスの削除に失敗しました。

対処

システム管理者に連絡してください。

[I402-ERR101] パスワードが一致しません。正しいパスワードを入力してください。アンインストールを中止します。

原因

アンインストーラ起動時に、パスワードをパラメーターで指定していません。

対処

パスワードをアンインストーラの起動時にパラメーターで指定してください。

[I402-ERR102] アンインストールを開始しようとしたますが、正しいパスワードが入力されていません。(再インストールする場合は一度アンインストールを行い、新しくインストールし直してください)アンインストールを中止します。

原因

パラメーターで指定したパスワードが間違っています。

対処

正しいパスワードを指定してください。

[I402-ERR103] Systemwalker Desktop Keeper のサービスを停止することができませんでした。アンインストールを中止します。

原因

アンインストール時、Systemwalker Desktop Keeperクライアントのサービスを停止できません。

対処

サービスが無応答状態になっている場合などに発生します。再起動したのちに、再度アンインストールしてください。

[I402-ERR104] コマンドプロンプトの置き換えに失敗しました。システム管理者に連絡してください。

原因

コマンドプロンプトのショートカットの置き換えに失敗しました。

対処

NT系の場合は、コマンドプロンプトのショートカットのリンク先をシステムフォルダの「cmd.exe」に変更してください。9X系の場合は、コマンドプロンプトのショートカットのリンク先をシステムフォルダの「command.com」に変更してください。

[I402-ERR105] コマンドラインで指定したパラメーターの書式が正しくありません。正しい書式で記述してください。

ex. > Setup.exe /Silent "Password:[password],Reboot:1"

アンインストールを中止します。

原因

パラメーターの書式が正しくありません。

対処

パラメーターの書式を正しく記述してください。

[I402-ERR106] コマンドラインからパラメーターを読み込めませんでした。パラメーターを確認後、再度アンインストールを行ってください。アンインストールを中止します。

原因

コマンドラインからパラメーターを読み込めませんでした。

対処

パラメーターを確認後、再度アンインストールしてください。

[I402-ERR107] アンインストールのパラメーターが指定されました。Desktop Keeper クライアントはまだインストールされていません。アンインストールを中止します。

原因

Desktop Keeper クライアントがインストールされていない状態で、アンインストールを実行しました。

対処

—

[I402-ERR108] 前回のインストール・アンインストールが完了していません。再起動した後に再度アンインストールしてください。アンインストールを中止します。

原因

前回のインストール・アンインストール後、再起動されていません。

対処

再起動後、アンインストールしてください。

[I402-ERR109] パラメーター「Reboot」の値が正しくありません。正しい値を入力してください。アンインストールを中止します。

原因

パラメーター「Reboot」の値が正しくありません。

対処

正しい値を入力してください。

[I412-ERR101] パスワードが一致しません。正しいパスワードを入力してください。

原因

パスワードが一致しません。

対処

正しいパスワードを入力してください。

A.3 運用時に出力されるメッセージ

[D101-INF001] システム管理者がこのアプリケーションの使用を禁止しています。

原因

使用禁止のアプリケーションを起動しようとした。

対処

—

[D102-INF002] システム管理者がサービスを停止させました。

原因

システム管理者がサービスを停止させました。

対処

—

[D1F1-INF001] システム管理者がこのファイルの添付を禁止しています。(添付禁止ファイル:<ファイル名>)

原因

添付が禁止されているアプリケーションのファイルをメールに添付して、送信または保存しようとした。

対処

—

**[D1F2-ERR001]メール送信に失敗しました。
(タイトル<メールのSUBJECT>)**

原因

仮想メールサーバからメールサーバにメールを送信しましたが、エラーとなり、メールが送信されませんでした。

対処

ネットワークの問題によりメールサーバに接続できなかったか、メールサーバに問題が発生しています。環境のチェックが必要です。

**[D1F2-ERR002] %s以降に送信されたメールが正しく送信されていない可能性があります。
ネットワークに異常があるかメールサーバが見つかりません。**

可変情報

%s : 送信時刻

原因

以下の原因が該当します。

- メールサーバを見つけることができません。
- SMTP通信ではありません。
- 暗号化通信を行っています。
- サポートしていない文字コードを使用しています。
- メールから送信が中断されました。
- 送信中に予期せぬエラーが発生しました。

対処

上記の原因を取り除き、該当メールを再送信してください。

**[D1F2-ERR003] %s以降に送信されたメールが正しく送信されていない可能性があります。
メールサーバからエラーが返却されました。**

可変情報

%s : 送信時刻

原因

メールサーバからエラーが返却されました。

以下の条件をすべて満たす原因が該当します。

- 送信先のメールアドレスがすべてメールサーバと同じドメインを持つアカウントである場合。
- 実際に該当のメールサーバには指定されたアドレスが存在しない場合。
- 指定した送信先のメールアドレスがすべて上記条件にあてはまる場合。

対処

メールサーバ側のエラーの対処をしてください。

[D1F3-ERR001] %s以降に送信されたメールが正しく送信されていない可能性があります。

可変情報

%s : 送信時刻

原因

以下のどちらかの原因が該当します。

- メール送信中のシャットダウンなどで送信できていないメールがあります。
- メール解析時に使用した作業ファイルの削除ができませんでした。

対応

原因を取り除き、該当メールを再送信してください。

[D901-INF001] システム管理者がこのアプリケーションの印刷を禁止しています。

原因

印刷禁止のアプリケーションで印刷しようとした。

対処

—

[D901-INF002] PrintScreenキーの使用は禁止されています。

原因

PrintScreenキーが押されました。

対処

—

[E001-WRN001] システム管理者が設定した1日の印刷ページ数の制限に近づいています。 印刷ページ数 : %1 / 印刷ページの制限数 : %2

可変情報

%1 : 印刷した合計ページ数

%2 : 管理者が設定している禁止の設定ページ数

原因

日ごとの設定を行っている場合に、端末の印刷ページ数が、管理者が設定している警告の設定ページ数以上になりました。

対処

印刷を控えるようにしてください。

[E001-WRN002] システム管理者が設定した1週間の印刷ページ数の制限に近づいています。 印刷ページ数 : %1 / 印刷ページの制限数 : %2

可変情報

%1 印刷した合計ページ数

%2 管理者が設定している禁止の設定ページ数

原因

週ごとの設定を行っている場合に、端末の印刷ページ数が、管理者が設定している警告の設定ページ数以上になりました。

対処

印刷を控えるようにしてください。

[E001-WRN003] システム管理者が設定した1ヶ月間の印刷ページ数の制限に近づいています。 印刷ページ数 : %1 / 印刷ページの制限数 : %2

可変情報

%1 印刷した合計ページ数

%2 管理者が設定している禁止の設定ページ数

原因

月ごとの設定を行っている場合に、端末の印刷ページ数が、管理者が設定している警告の設定ページ数以上になりました。

対処

印刷を控えるようにしてください。

[E001-WRN004] システム管理者が設定した1日の印刷ページ数の制限を超えています。

印刷ページ数 : %1 / 印刷ページの制限数 : %2

可変情報

%1 印刷した合計ページ数

%2 管理者が設定している警告の設定ページ数

原因

日ごとの設定を行っている場合に、端末の印刷ページ数が、管理者が設定している警告の設定ページ数以上になりました。

対処

印刷を控えるようにしてください。

[E001-WRN005] システム管理者が設定した1週間の印刷ページ数の制限を超えています。

印刷ページ数 : %1 / 印刷ページの制限数 : %2

可変情報

%1 印刷した合計ページ数

%2 管理者が設定している警告の設定ページ数

原因

週ごとの設定を行っている場合に、端末の印刷ページ数が、管理者が設定している警告の設定ページ数以上になりました。

対処

印刷を控えるようにしてください。

[E001-WRN006] システム管理者が設定した1ヶ月間の印刷ページ数の制限を超えています。

印刷ページ数 : %1 / 印刷ページの制限数 : %2

可変情報

%1 印刷した合計ページ数

%2 管理者が設定している警告の設定ページ数

原因

月ごとの設定を行っている場合に、端末の印刷ページ数が、管理者が設定している警告の設定ページ数以上になりました。

対処

印刷を控えるようにしてください。

[E001-ERR001] システム管理者が設定した1日の印刷ページ数の制限を超えたので印刷を禁止しました。

印刷ページ数 : %1 / 印刷ページの制限数 : %2

可変情報

%1 印刷した合計ページ数

%2 管理者が設定している印刷禁止の設定ページ数

原因

日ごとの設定を行っている場合に、端末の印刷ページ数が、管理者が設定している印刷禁止の設定ページ数以上になりました。

対処

印刷は行えません。

[E001-ERR002] システム管理者が設定した1週間の印刷ページ数の制限を超えたので印刷を禁止しました。
印刷ページ数 : %1 / 印刷ページの制限数 : %2

可変情報

%1 印刷した合計ページ数

%2 管理者が設定している印刷禁止の設定ページ数

原因

週ごとの設定を行っている場合に、端末の印刷ページ数が、管理者が設定している印刷禁止の設定ページ数以上になりました。

対処

印刷は行えません。

[E001-ERR003] システム管理者が設定した1ヶ月間の印刷ページ数の制限を超えたので印刷を禁止しました。
印刷ページ数 : %1 / 印刷ページの制限数 : %2

可変情報

%1 印刷した合計ページ数

%2 管理者が設定している印刷禁止の設定ページ数

原因

月ごとの設定を行っている場合に、端末の印刷ページ数が、管理者が設定している印刷禁止の設定ページ数以上になりました。

対処

印刷は行えません。

[E601-INF001] このユーザー名によるログオンは禁止されています。30秒後に強制的にログオフします。

原因

許可されていないユーザー名によってログオンされました。

対処

—

[E602-INF002] このユーザー名によるログオンは禁止されています。30秒後に強制的にシャットダウンします。

原因

許可されていないユーザー名によってログオンされました。

対処

—

[S101-ASK001] 最新のモジュールが提供されています。最新版に更新する場合は、「はい」を押してください。更新しない場合は「いいえ」を押してください。
※CTバージョンが「1.0.0.1」の場合

原因

最新のモジュールが提供されています。

対処

最新版に更新するかどうか判断し、「はい」もしくは「いいえ」を押してください。

[S101-ASK001] 最新のモジュールが提供されています。最新版に更新する場合は、「はい」を押してください。更新しない場合は「いいえ」を押してください。「はい」を選択し更新が完了すると自動的に再起動しますので、アプリケーションを終了させておいてください。

※CTバージョンが「1.0.0.7」の場合

原因

最新のモジュールが提供されています。

対処

最新版に更新するかどうか判断し、「はい」もしくは「いいえ」を押してください。

[S101-ASK002] 最新のモジュールが提供されています。最新版に更新する場合は、「はい」を押してください。更新しない場合は「いいえ」を押してください。「はい」を選択し更新が完了するとOSの再起動が必要となりますので、アプリケーションを終了させておいてください。

原因

最新のモジュールが提供されています。

対処

最新版に更新するかどうか判断し、「はい」もしくは「いいえ」を押してください。

[S101-INF001] システム管理者がアプリケーション(プロセス)を強制終了させました。

原因

システム管理者がアプリケーション(プロセス)を強制終了させました。

対処

—

[S102-INF002] システム管理者がサービスを開始させました。

原因

システム管理者がサービスを開始させました。

対処

—

[S301-ERR001] 最新モジュールの受信中にネットワークエラーが発生しました。更新処理を中止します。次回OS起動後に再度実行します。

原因

最新モジュールの受信中にネットワークエラーが発生しました。

対処

ネットワーク環境を調査し、正常を確認した上で、再度実行してください。

[S301-ERR002] 受信モジュールの書き込みでエラーが発生しました。ディスク空き容量不足です。OSのインストールドライブの空き容量を確認してください。更新処理を中止します。次回OS起動後に再度実行します。

原因

ディスク空き容量不足です。

対処

インストールドライブの空き容量を確認してください。

[S301-ERR003] サーバへの同時接続数を超過していたため、更新モジュールをダウンロードできませんでした。更新処理を中止します。次回OS起動後に再度実行します。

原因

サーバへの同時接続数を超過しています。

対処

システム管理者は、統合管理サーバおよび管理サーバのSWCTVerSettings2.iniファイルの[MaxDownloadNum]を見直すか、次回OS起動時に再度実行してください。持出しユーティリティだけを使用するユーザーは、メッセージの内容をシステム管理者に連絡するか、次回OS起動時に再度実行してください。

[S401-ERR001] 最新モジュールの受信中にネットワークエラーが発生しました。更新処理を中止します。次回OS起動後に再度実行します。

原因

最新モジュールの受信中にネットワークエラーが発生しました。

対処

ネットワーク環境を調査し、正常を確認した上で、再度実行してください。

[S401-ERR002] 受信モジュールの書き込みでエラーが発生しました。ディスク空き容量不足です。OSのインストールドライブの空き容量を確認してください。更新処理を中止します。次回OS起動後に再度実行します。

原因

ディスク空き容量不足です。

対処

インストールドライブの空き容量を確認してください。

[S402-ERR001] ログをファイルに書き込む際にエラーが発生しました。

原因

以下の原因が考えられます。

- ディスクの空き容量が不足している
- ログファイルの格納先を持出し禁止ドライブに設定している
- ログファイルの格納先フォルダやログのファイルが読み取り専用属性になっている
- ログファイルの格納先フォルダに、ログオンユーザーによるアクセス権がない ディスクが壊れている

対処

原因に応じて、以下の処置を行ってください。

- CTのディスク容量を73MB以上確保する
- ログファイルの格納先を持出し禁止ドライブに設定しない
- ログファイルの格納先フォルダやログのファイルの読み取り専用属性を解除する
- ログファイルの格納先フォルダに、ログオンユーザーによるアクセス権を設定する
- ディスクが正常に動作しているか確認する

システム管理者がDVD、CDへの書き込みを禁止しています。

原因

システム管理者がDVDやCDによるファイル持出しを禁止しています。

対処

DVDやCDによるファイル持出しを行う場合は、システム管理者に連絡して、ポリシーの設定を変更してもらってください。

システム管理者が書き込み可能なDVD、CDを強制的に取り出しました。

原因

システム管理者がDVDやCDによるファイル持出しを禁止しています。

対処

DVDやCDによるファイル持出しを行う場合は、システム管理者に連絡して、ポリシーの設定を変更してもらってください。

システム管理者がこのファイルの送信を禁止しています。(このメッセージがメール送信以外の操作で表示される場合がありますが、処理に影響はありませんので、OKボタンをクリックしてメッセージを終了してください。)

原因

添付が禁止されているアプリケーションのファイルをメールに添付して送信しようとした。

対処

—

[SBX-INF001] 選択されたファイルのパス長が218バイトを超えています。選択ファイルを見直ししてください。

原因

選択されたファイルまたはフォルダのパス長が218バイトを超えています。

対処

選択ファイルを確認し、選択をやり直してください。

[SBX-INF002] ファイル名には次の文字は使用できません。

¥ : / * ? " < > |

原因

ファイル名に入力不可文字を入力しました。

対処

正しいファイル名を入力してください。

[SBX-INF003] 入力したパスワードと再入力したパスワードが一致しません。パスワードを確認してください。

原因

パスワードと再入力したパスワードが一致しませんでした。

対処

パスワードを再入力してください。

[SBX-INF004] パスワード長に誤りがあります。パスワードは %d ~ %d文字以内で入力してください。

可変情報

%d: ポリシーで設定したパスワード入力範囲 (1 ~ 128)

原因

パスワードの長さがポリシーで設定した範囲内にありません。

対処

パスワードを再入力してください。

[SBX-INF005] 選択されたファイル名またはフォルダ名に使用できない文字が含まれています。選択ファイルを見直ししてください。

原因

選択されたファイルの名前またはフォルダの名前に使用できない文字が含まれています。

対処

ファイル名を変更するか選択ファイルを見直ししてください。

[SBX-ERR001] ファイル名が入力されていません。ファイル名を入力してください。

原因

ファイル名が入力されていません。

対処

ファイル名を入力してください。

[SBX-ERR002] パスワードが入力されていません。パスワードを入力してください。

原因

パスワードまたは再入力パスワードが入力されていません。

対処

パスワードを入力してください。

[SBX-ERR003] 暗号化処理が異常終了しました。%s

可変情報

%s: エラーの内容

原因

暗号化の処理中にエラーが発生しました。

対処

エラー内容を確認して、対処してください。

A.4 ファイル持出しユーティリティで出力されるメッセージ

[FCCA-ERR001] %s をコピーできません。送り側と受け側のファイル名が同じです。

可変情報

%s : 持出しファイル名

原因

送り側と受け側のファイル名が同じです。

対処

ファイル名を確認してください。

[FCCA-ERR002] %sを追加できません。同名のファイルが既に存在します**可変情報**

%s : ファイル名

原因

同名のファイルがすでに存在します。

対処

ファイル名を見直してください。

[FCCA-ERR003] 書き込み禁止の記憶媒体を使用しているか、アクセスできないドライブを指定しているか、または記憶媒体のディスク空き容量が不足しています。**原因**

書き込み禁止の記憶媒体を使用しているか、アクセスできないドライブを指定しているか、または記憶媒体のディスク空き容量が不足しています。

対処

持出し先の記憶媒体がプロテクトされていないか確認してください。

ネットワークドライブの場合、アクセスできるか確認してください。

持出し先の記憶媒体のディスク容量が不足している場合は、容量を確保し再度実行してください。

[FCCA-ERR004] 持出し元ファイル名(フルパス)には218文字(半角文字)を超えるファイル名は指定できません。**原因**

持出し元ファイル名に指定した文字数が、制限値を超えています。

対処

持出し元ファイル名を218バイト(パスの長さを含む)で指定して、処理を再度実行してください。

[FCCA-ERR005] 持出し元で設定したフォルダまたはファイル(%s)が存在しません。処理を中止します。**可変情報**

%s : ファイル名

原因

持出し元で設定したフォルダまたはファイルが存在しません。

対処

持出し元で設定したフォルダまたはファイルが存在することを確認して、処理を再度実行してください。

[FCCA-ERR006] %sをコピーできません。持出し元と持出し先のフォルダが同じです。**可変情報**

%s : ファイル名

原因

持出し元と持出し先のフォルダが同じです。

対処

持出し先に、持出し元と異なるフォルダを指定して、再度実行してください。

[FCCA-ERR007] 持出し元で設定したファイルまたはフォルダの読み取り権限がありません(%s)。

可変情報

%s : 持出しファイル名

原因

持出し元として設定したファイルまたはフォルダの読み取り権限がありません。

対処

持出し元のファイルまたはフォルダの読み取り権を確認し、再度実行してください。

[FCCA-ERR008] 持出しユーティリティを同時に複数起動することはできません。

原因

持出しユーティリティを複数起動しようとした。

対処

起動済みの持出しユーティリティに対して、操作を行ってください。

[FCCA-ERR009] %sをコピーできません。持出し先フォルダは持出し元フォルダのサブフォルダです。

可変情報

%s : 持出しフォルダ名

原因

持出し先が持出し元フォルダ配下に指定されています。

対処

持出し先は、持出し元と異なるフォルダ(持出し元フォルダ配下も含む)を指定して、再度実行してください。

[FCCA-ERR010] 持出し先として指定されたネットワークへの接続に失敗したため、処理を続行出来ません。

原因

持出し先として指定されたネットワークへの接続に失敗しました。

対処

ネットワークの接続を確認し、再度実行してください。

[FCCA-ERR011] 持出し元のファイル名あるいはフォルダ名「%s」にファイル名として使用できない文字が含まれています。処理を中止します。

可変情報

%s : 持出しファイル名または持出しフォルダ名

原因

持出し元のファイルのパスに、Unicode固有文字(SJISに変換できない文字)が含まれています。

対処

持出し元のファイルのパス名から、Unicode固有文字(SJISに変換できない文字)を取り除いてください。

[FCCA-ERR012] この記憶媒体へ持出しは行えません。使用が許可された記憶媒体をセットし、処理を再度実行してください。

原因

ポリシーで許可されていないUSBデバイスの記憶媒体にファイルまたはフォルダを持出そうとしました。

対処

使用を許可されていないUSBデバイスへの持出しはできません。使用可能な記憶媒体を選択し、再度処理を実行してください。

[FCCA-ERR013] 指定したファイルまたはフォルダは、使用を許可されていない記憶媒体上にあるため選択できません。(%s)

可変情報

%s: 持出し元ファイル/フォルダ名

原因

ポリシーで許可されていないUSBデバイスの記憶媒体のファイルまたはフォルダを持出そうとしました。

対処

使用を許可されていないUSBデバイスからの持出しはできません。

[FCCA-ERR014] 選択したドライブには、使用を許可されていない記憶媒体がセットされているため表示できません。

原因

ポリシーで許可されていないUSBデバイスのドライブを選択しました。

対処

使用を許可されていないUSBデバイス内のファイルまたはフォルダは表示できません。

[FCCA-INF001] ファイルの持出しが完了しました。

原因

—

対処

—

[FCCA-INF002] ファイルの持出しをキャンセルしました。

原因

—

対処

—

[FCCA-SEL001] 暗号化して指定するフォルダへ保存します。

原因

—

対処

—

[FCCA-SEL002] 通常ファイルの持出しを行います。よろしいですか？

原因

通常ファイルの持出しをしようとしていました。

対処

実行するかしないか、決定してください。

[FCCA-SEL003] %s が持出し先に既に存在します。上書きしますか？

可変情報

%s : 持出しファイル名

原因

%s が持出し先にすでに存在します。

対処

上書きするかしないか決定してください。

[FCCA-SEL004] %s が持出し先に既に存在します。上書きしますか？

可変情報

%s : 持出しファイル名

原因

持出し先に同名のファイルがすでに存在しています。

対処

持出し先に同名のファイルが存在しないことを確認後、処理を再度実行してください。

[FCCA-SEL005] 通常ファイルの持出しを実行中です。しばらくお待ちください。

原因

—

対処

—

[FCCA-SEL006] 暗号化ファイルの持出しを実行中です。しばらくお待ちください。

原因

—

対処

—

[FCCA-SEL007] キャンセルボタンが押されました。処理を中止しますか？

原因

通常持出しの実行中に、キャンセルボタンが押されました。

対処

キャンセルするかしないか、決定してください。

[FCCA-WRN001] ファイルまたはフォルダを選択してください。

原因

ファイルまたはフォルダが選択されていません。

対処

ファイルまたはフォルダを選択してください。

[FCCA-WRN002] 保存先フォルダを選択してください。

原因

保存先フォルダが選択されていません。

対処

保存先フォルダを選択してください。

[FCCA-WRN003] パスワードとパスワード再入力不一致。

原因

登録されているパスワードと異なるパスワードが入力されました。

対処

正しいパスワードを入力してください。

[FCCA-WRN004] パスワードを入力してください。

原因

パスワードが入力されていません。

対処

正しいパスワードを入力してください。

[FCCA-WRN005] 暗号ファイル名を入力してください。

原因

暗号ファイル名が入力されていません。

対処

暗号ファイル名を入力してください。

[FCCA-WRN006] 暗号ファイル名はドライブ名、パス名を含んだ形式で入力してください。

原因

暗号ファイル名が、ドライブ名およびパス名を含んだ形式で入力されていません。

対処

ドライブ名、パス名を含んだ形式で入力してください。

[FCCA-WRN007] 暗号ファイル名にファイル名が入力されていません。ファイル名を入力してください。

原因

暗号ファイル名が入力されていません。

対処

暗号ファイル名を入力してください。

[FCCA-WRN008] フォルダ名またはファイル名には以下の文字は使用できません。/, :, *, ?, ", <, >, | は使用できません。

原因

フォルダ名またはファイル名に使用できない文字を使用しています。

対処

ファイル名およびフォルダ名を確認後、再度処理を実行してください。

[FCCA-WRN009] 持出し先ファイル名(フルパス)には%d文字(半角文字)を超えるファイル名は指定できません。

原因

持出し先ファイル名に指定した文字数が、制限値を超えています。

対処

持出し先ファイル名を218バイト(パスの長さを含む)で指定して、処理を再度実行してください。

[FCCA-WRN010] パスワードの入力可能文字数は%1~%2です。

可変情報

%1 : 入力可能文字数の最小値

%2 : 入力可能文字数の最大値

原因

パスワード入力文字数が、入力可能文字数の範囲外になっています。

対処

パスワード入力文字数を確認してください。

[FCCA-WRN011] 暗号ファイル名のドライブ名にはリムーバブルドライブを入力してください。

原因

[リムーバブルのみ持出し先として表示]のポリシー設定となっているため、リムーバブル以外のドライブ種別には持出しはできません。

対処

ドライブ種別がリムーバブルのドライブを指定してください。

[FCCD-ERR001] 書き込み可能なドライブでないか、ドライブが見つかりません。処理を中止します。

原因

書き込み可能でないドライブでデータ書き込みまたはメディア消去を行うとしています。

対処

書き込み可能なドライブを接続し、処理を再度実行してください。

[FCCD-ERR002] ドライブにブランクメディアがセットされていません。処理を中止します。

原因

ブランクメディアがセットされていません。

対処

ブランクメディアをセットし、処理を再度実行してください。

**[FCCD-ERR003] ドライブにセットされているメディアはブランクメディアではありません。
処理を中止します。**

原因

ドライブにセットされたメディアは、ブランクメディアではありません。

対処

ブランクメディアをセットし、処理を再度実行してください。

書き込みされたCD-RWまたはDVD-RWメディアの全データを消去しブランクメディアにする場合は、ファイル持出しユーティリティの [ファイル]メニューから [CD-RW/DVD-RW消去]メニューを選択してください。(ファイル持出しユーティリティで、DVD-RWメディアを消去できるのは、Windows Vista®のみです。)

[FCCD-ERR005] ドライブにセットされているメディアは、サポートされていないメディアか、ブランクメディアではありません。書き込み可能なメディアをセットし、処理を再度実行してください。

原因

ドライブにセットされたメディアは、書き込みサポートされていないメディアか、ブランクメディアではありません。

対処

ブランクメディアをセットし、処理を再度実行してください。

書き込みされたCD-RWまたはDVD-RWメディアの全データを消去しブランクメディアにする場合は、ファイル持出しユーティリティの [ファイル]メニューから [CD-RW/DVD-RW消去]メニューを選択してください。(ファイル持出しユーティリティで、DVD-RWメディアを消去できるのは、Windows Vista®のみです。)

**[FCCD-ERR006] 書き込みするファイルのサイズが、書き込み先メディアの空き容量を超えています。
処理を中止します。**

原因

書き込み先のメディアの空き容量が不足しています。

対処

書き込みを行うファイルのサイズが、メディアの空き容量以下になるようにするか、または十分に空き容量のあるメディアをセットして、処理を再度実行してください。

**[FCCD-ERR007] 書き込みするためのイメージファイルが作成できませんでした。
処理を中止します。**

原因

ユーザーのテンポラリ領域で指定しているドライブが書き込み禁止になっているか、またはユーザーのテンポラリ領域で指定しているドライブディスクの空き容量が不足しています。

対処

ユーザーのテンポラリ領域で指定しているドライブが書き込み禁止になっていないか確認してください。

ユーザーのテンポラリ領域で指定しているドライブディスクの空き容量が不足している場合は、容量を確保し再度実行してください。

(・暗号化ファイルの持出しの場合、空き容量は持出し元のファイルサイズの約2.5倍必要です。

・通常ファイルの持出しの場合、空き容量は持出し元のファイルサイズの約1.5倍必要です。)

[FCCD-ERR008] 書き込み処理が失敗しました。

原因

以下の原因が考えられます。

- ・メディアが破損している。
- ・メディアへの書き込み中に処理を中断した。

- ・ システムのリソースが不足している。

対処

原因に応じて、以下の処理を行ってください。

- ・ 破損していない書き込み可能なメディアをセットする。
- ・ 再度書き込みを行いたい場合は、書き込み可能なメディアをセットする。
- ・ 他のすべてのアプリケーションを終了し、メディア書き込みを実行する。

[FCCD-ERR009] 処理が中止されました。

原因

処理が中止されました。

対処

富士通技術員に連絡してください。

[FCCD-ERR010] IMAPIサービスが無効になっているか、またはGuestアカウントでログオンしています。処理を中止します。

原因

IMAPIサービスが無効になっているか、Guestアカウントでログオンされています。

対処

OSのサービスの設定で、IMAPIサービス(IMAPI CD-Burning COM Service)のスタートアップの種類を自動にしてください。または、Guestアカウント以外でログオンして、処理を再度実行してください。

[FCCD-ERR011] ドライブにメディアがセットされていないか、メディアの情報が取得できませんでした。メディアを確認し、再度処理を実行してください。

原因

セットしたメディアがドライブに対応していないか、またはメディアが破損している可能性があります。

対処

ドライブに対応した正常なメディアをセットして、処理を再度実行してください。

[FCCD-ERR012] 他のライティングソフトが起動されているため、IMAPI初期化エラーが発生しました。処理を中止します。

原因

他のライティングソフトが起動されているため、IMAPI初期化エラーが発生しました。

対処

他のライティングソフトが起動されている場合は終了し、処理を再度実行してください。

[FCCD-ERR013] IMAPIデバイスアクセスエラーが発生しました。処理を中止します。

原因

以下の原因が考えられます。IMAPIサービスが無効になっています。Guestアカウントでログオンしています。メディアが破損しています。ドライブが正常に動作していません。

対処

以下の内容を確認後、処理を再度実行してください。OSのサービスの設定で、IMAPI サービス(IMAPI CD-Burning COM Service)のスタートアップの種類を自動にしてください。Guestアカウント以外でログオンし、処理を再度実行してください。ドライブに対応した正常なメディアをセットしてください。ドライブが正常に動作しているか確認してください。

**[FCCD-ERR014] ボリューム名として使用できない文字を入力しています。
入力できる文字は、数字および半角英大文字、「_」です。**

原因

ボリューム名に使用できない文字が入力されています。

対処

ボリューム名に使用できる文字だけを入力してください。

**[FCCD-ERR015] Guestアカウントでは書き込みはできません。
処理を中止します。**

原因

Guestアカウントは、メディアへの書き込み機能は使用できません。

対処

Guestアカウント以外でログオンし、処理を再度実行してください。

[FCCD-ERR016] このOSでは、ファイル持出しユーティリティのCD/DVDメディアへの書き込み機能はサポートされていません。

原因

ファイル持出しユーティリティのメディアへの書き込み機能がサポートされていないOSで実行しようとした。

対処

—

**[FCCD-ERR017] ドライブの情報が取得できませんでした。
ドライブが正しく接続されているか、確認してください。
処理を中止します。**

原因

以下の原因が考えられます。

- ドライブが正しく接続されていない。
- ドライブが正常に動作していない。

対処

ドライブが正しく接続されているか、正常に動作しているかを確認して、処理を再度実行してください。

[FCCD-ERR018] CD系のデバイスが存在しません。処理を中止します。

原因

CD系のデバイスが存在しません。

対処

CD系のデバイスが存在するクライアントで、処理を再度実行してください。

**[FCCD-ERR019] 選択したドライブにメディアがセットされていません。
消去処理を中止します。**

原因

消去可能なメディアがセットされていません。

対処

消去するメディアをセットし、処理を再度実行してください。

[FCCD-ERR022] 選択したドライブには、ファイル持出しユーティリティで消去可能なメディアがセットされていません。

原因

消去可能なメディアがセットされていません。

対処

消去するメディアをセットし、処理を再度実行してください。

[FCCD-ERR023] メディアの消去が失敗しました。

原因

以下の原因が考えられます。

- ・メディアが破損している。
- ・メディア消去中に処理を中断した。
- ・システムのリソースが不足している。

対処

原因に応じて、以下の処理を行ってください。

- ・消去可能な別のメディアをセットする。
- ・他のすべてのアプリケーションを終了し、メディア書き込みを実行する。

**[FCCD-ERR024] ボリューム名が長すぎます。
入力できる文字は、数字および半角英大文字、「_」で16文字までです。**

原因

ボリューム名が長すぎます。

対処

ボリューム名を16文字以内に設定してください。

[FCCD-ERR025] CDまたはDVDメディアに書き込む場合、持出し先ファイル名には64文字(全角半角とも1文字で拡張子含む)を超えるファイル名は指定できません。

原因

持出し先ファイル名に指定した文字数が、制限値を超えています。

対処

持出し元ファイル名を64文字(全角半角とも1文字)で指定して、処理を再度実行してください。

[FCCD-ERR026] CDまたはDVDメディアに書き込む場合、持出し先フォルダ名には64文字(全角半角とも1文字)を超えるフォルダ名は指定できません。

原因

持出し先フォルダ名に指定した文字数が、制限値を超えています。

対処

持出し元フォルダ名を64文字(全角半角とも1文字)で指定して、処理を再度実行してください。

[FCCD-ERR027] CDまたはDVDメディアに書き込む場合、持出し先ファイル名(フルパス)には240バイトを超えるファイル名は指定できません(区切り文字以外は1文字2バイト)。

原因

持出し元ファイル名に指定した文字数が、制限値を超えています。

対処

持出し元ファイル名を240バイト以内(フォルダの区切り文字は1バイト、ファイル・フォルダ名は1文字2バイト。ドライブレターは区切り文字には含まない)で指定して、処理を再度実行してください。

[FCCD-ERR028] 持出し元で設定したフォルダまたはファイルが存在しません。処理を中止します。

原因

持出し元で設定したフォルダまたはファイルが存在しません。

対処

持出し元で設定したフォルダまたはファイルが存在することを確認した上で、処理を再度実行してください。

[FCCD-ERR029] ドライブにセットされているメディアはFAT32フォーマットで初期化されたブランクメディア(DVD-RAM)ではありません。処理を中止します。

原因

ドライブにセットされたメディアは、FAT32フォーマットで初期化されていないか、ファイルが書き込みされたメディア(DVD-RAM)のため、書き込みができません。

対処

原因に応じて、以下の処理を行ってください。

- DVD-RAMメディアをFAT32フォーマットで初期化する。
- DVD-RAMメディアにファイルまたはフォルダが存在する場合、削除する。

[FCCD-ERR030] イメージファイルを作成するための作業領域が不足しています。処理を中止します。

原因

OSがインストールされているドライブの空き容量が不足しています。

対処

OSがインストールされているドライブの空き容量を確保し、再度実行してください。

[FCCD-ERR031] メディアをイジェクトできませんでした。

原因

以下の原因が考えられます。

- ドライブが他のライティングソフトに制御されている。
- ドライブが正しく接続されていない。
- 障害物などでドライブが正しく開かない状態にある。

対処

原因に応じて以下の処理を行ってください。

- ドライブが他のライティングソフトに制御されている場合、制御しているライティングソフトの取り出し機能を使って、メディアをイジェクトしてください。
- ドライブが正しく接続されているか、障害物等がないかを確認し、ドライブのイジェクトボタンを押してメディアをイジェクトしてください。

[FCCD-ERR032] メディアに書き込む場合、持出し先フォルダ名またはファイル名には以下の文字は使用できません。/, :, *, ?, ", <, >, |, ; は使用できません。

原因

フォルダ名またはファイル名に使用できない文字を使用しています。

対処

ファイル名およびフォルダ名を確認後、再度処理を実行してください。

[FCCD-ERR033] %sへの書き込み機能はサポートされていないか、ドライブが対応していません。

可変情報

%s : メディア名 (CD-ROM, CD-RW等)

原因

持出し先のメディアが、ファイル持出しユーティリティで書き込みできないメディアか、ドライブが対応していません。

対処

書き込み可能なメディアであるか、または書き込み可能なドライブであるかを確認してください。

[FCCD-ERR034] %sの消去機能はサポートされていないか、ドライブが対応していません。

可変情報

%s : メディア名 (CD-ROM, CD-RW等)

原因

消去メディアが、ファイル持出しユーティリティで消去できないメディアか、ドライブが対応していません。

対処

書き込み可能なメディアであるか、または書き込み可能なドライブであるかを確認してください。

[FCCD-ERR035] 現在他のログオンユーザーがメディアへの書き込み機能または消去機能を使用しています。処理を中止します。

原因

他のログオンユーザーがメディアへの書き込みまたは消去を行っているため、持出しユーティリティからの書き込みが行えませんでした。

対処

他のログオンユーザーのメディアへの書き込みまたは消去完了後に、再度処理を実行してください。

[FCCD-SEL001] 消去処理を行うと、メディア内の全てのデータが削除されます。消去処理を実行しますか？

原因

メディアの消去処理をしようとしています。

対処

実行するかしないか、決定してください。

[FCCD-INF001] メディアへのファイルの持出しが完了しました。

原因

—

対処

—

[FCCD-INF002] メディアの消去が完了しました。

原因

—

対処

—

[FCCD-INF003] メディアへの書き込み中です。
ファイル持出しユーティリティを終了しないでください。
また、処理中は他のアプリケーションを起動しないでください。開始時間: yyyy/mm/dd hh:mm:ss

原因

—

対処

—

[FCCD-INF004] メディアの消去中です。
ファイル持出しユーティリティを終了しないでください。
また、処理中は他のアプリケーションを起動しないでください。開始時間: yyyy/mm/dd hh:mm:ss

原因

—

対処

—

[FCCM-ERR001] 不明なエラーが発生しました。システム管理者に連絡してください。

原因

Windowsの内部でエラーが発生しています。

対処

富士通技術員に連絡してください。

[FCCM-ERR002] 管理サーバとの通信が行えませんでした。ファイル持出しユーティリティの起動または持出し処理は行えません。

原因

管理サーバとの通信が行えなかったため、サーバの日時確認が行えませんでした。

対処

管理サーバと通信ができる状態にし、処理を再度実行してください。

[FCCM-INF001] 処理が中止されました。

原因

処理が中止されました。

対処

富士通技術員に連絡してください。

[FCCM-INF002] 持出しユーティリティは使用できないポリシー設定になっています。

原因

持出しユーティリティが使用できないポリシーに設定されています。

対処

持出しユーティリティを使用できるポリシーへの変更を管理者に依頼してください。

[FCCM-INF004] 持出し可能時間外です。ファイル持出しは行えません。

原因

持出しユーティリティで持出し可能時間外のポリシーが設定されています。

対処

持出しユーティリティを使用できるポリシーへの変更を管理者に依頼してください。

[FCFM-ERR002] このドライブはフォーマットできません。

原因

フォーマットできないドライブを選択しています。

対処

フォーマットできるドライブを選択してください。

[FCFM-ERR003] このドライブはすでに削除されています。

原因

すでに存在しないドライブを選択しています。

対処

フォーマットできるドライブを選択してください。

[FCFM-ERR004] 選択したドライブには、使用を許可されていない記憶媒体がセットされているため、フォーマットできません。

原因

ポリシーで許可されていないUSBデバイスのドライブをフォーマットしようとした。

対処

フォーマットできるドライブを選択してください。

[FCFM-WRN001] ドライブを選択してください。

原因

ドライブが選択されていません。または、ドライブを正しく選択していません。

対処

ドライブを正しく選択してください。

[FCSB-ERR001] 指定したパラメーターが誤っています。

原因

指定したパラメーターが誤っています。
復号可能期限が、2037/12/31を過ぎています。

対処

指定したパラメーターが誤っています。
復号可能期限は、2037/12/31までになるようにしてください。

[FCSB-ERR002] 複写先のファイルはすでに存在します。

原因

すでに存在しているファイルを複写先に指定しました。

対処

複写先のファイル名を見直してください。

[FCSB-ERR003] 指定されたファイルは存在しません。

原因

複写元のファイルが存在しません。

対処

複写元のファイルを正しく指定してください。

[FCSB-ERR004] 暗号化するファイルが存在しません。

原因

暗号化するファイルが存在しません。

対処

暗号化するファイル名を見直してください。

[FCSB-ERR005] 作業メモリが不足しています。不要なアプリケーションを終了させて再度実行してください。

原因

作業メモリが不足しています。

対処

不要なアプリケーションを終了して再度実行してください。

[FCSB-ERR006] ファイルへのアクセスが拒否されました。

原因

持出し元ファイル、持出し先ファイルまたは暗号化に使用する作業ファイルへのアクセスが拒否されました。

対処

次の点を確認し、問題を改善後、再度実行してください。別のアプリケーションがファイルやフォルダを開いていないか確認してください。ファイルやフォルダが書き込み禁止、読み込み専用になっていないか確認してください。ファイルまたはフォルダのアクセス権を確認してください。

[FCSB-ERR007] ファイルを開くことができません。

原因

ファイルを開くことができません。または、ユーザーのテンポラリ領域で指定しているドライブが書き込み禁止になっているか、またはユーザーのテンポラリ領域で指定したフォルダが存在しません。

対処

ファイル名に使用できない文字が含まれていないか、ファイル名が長すぎないか確認し、正しいファイル名を指定して再度実行してください。または、ユーザーのテンポラリ領域で指定したフォルダが存在するか、書き込み禁止になっていないかを確認し再度実行してください。

[FCSB-ERR008] ファイルを読み込むことができません。

原因

ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

対処

処理中にファイルが操作されていないか、他のアプリケーションでファイルを開いていないか確認してください。また、処理中にネットワークなどの環境で異常が発生していないか確認してください。問題を改善後、再度実行してください。

[FCSB-ERR009] ディレクトリを作成することができません。

原因

ディレクトリを作成することができません。(作成しようとしているフォルダと同名のファイルが存在する場合など)

対処

作成しようとしているファイル名を確認し、正しいファイル名を指定して再度実行してください。

[FCSB-ERR010] 書き込み禁止の記憶媒体を使用しているか、または記憶媒体のディスク空き容量が不足しています。

原因

書き込み禁止の記憶媒体を使用しているか、または記憶媒体のディスク空き容量が不足しています。

対処

持出し先の記憶媒体がプロテクトされていないか確認してください。持出し先の記憶媒体のディスク容量が不足している場合は、容量を確保し再度実行してください。

[FCSB-ERR012] 暗号化後のファイルサイズが2,140,000,000バイトを超えています。処理を中止します。

原因

暗号化後のファイルサイズが、制限値を超えています。

対処

暗号化後のファイルサイズが2,140,000,000バイト以下になるように指定して、処理を再度実行してください。暗号化後のファイルサイズは、暗号化前に比べて約130KByteのファイルサイズが増加します。

[FCSB-ERR013] 暗号化ファイルを作成するための作業領域が不足しています。処理を中止します。

原因

持出し先のドライブまたはユーザーのテンポラリ領域で指定しているドライブの空き容量が不足しています。

対処

持出し先のドライブおよびユーザーのテンポラリ領域で指定しているドライブの空き容量を確保し、再度実行してください。

[FCSE-ERR014] 暗号化ファイル持出し先のドライブの空き容量が不足しているか、持出し先のドライブにアクセスできません。処理を中止します。

原因

持出し先のドライブにアクセスできないか、またはユーザーのテンポラリ領域で指定しているドライブの空き容量が不足しています。

対処

持出し先として指定したドライブにアクセスできるか確認してください。

持出し先のドライブおよびユーザーのテンポラリ領域で指定しているドライブの空き容量が不足している場合は、領域を確保し、再度実行してください。

[FCSE-ERR015] 暗号化に使用した作業ファイルの削除に失敗しました。処理を中止します。

原因

暗号化に使用した作業ファイルの削除に失敗しました。以下の原因が考えられます。ユーザーのテンポラリ領域に指定しているフォルダへのアクセス権が変更されました。

対処

ユーザーのテンポラリ領域に指定しているフォルダへのアクセス権を確認し、再度実行してください。

[FCSE-ERR016] 持出し元のファイル名もしくはフォルダ名に無効な文字が含まれています。以下の文字はファイル名に指定できません。/, :, *, ?, ", <, >, | は使用できません。

原因

持出し元のファイル名またはフォルダ名に、使用できない文字が含まれています。

対処

ファイル名に使用できない文字が含まれていないことを確認し、再度処理を実行してください。

[FCSE-ERR017] Unicode固有文字(SJISに変換できない文字)が含まれるユーザーIDでログオンしている場合、CDまたはDVDメディアへの暗号化持出しは行えません。

原因

ユーザーIDにUnicode固有文字(SJISに変換できない文字)が含まれています。

対処

暗号化持出し先を、CDまたはDVDメディア以外に変更して持出しを行ってください。

[FCSE-ERR001] ファイルサイズの合計が、一度に持出せるファイルサイズの最大値を超えました。一度に持出せるファイルサイズの最大値は%dバイトです。

可変情報

%d : 一度に持出せるファイルサイズの最大値

原因

ファイル持出しログのポリシーが「取得する」かつ、「原本保管する」に設定されている場合に、一度に持出せる合計ファイルサイズを超えたファイルを持出そうとしました。

対処

一度に持出すファイルの合計サイズが表示されたサイズ以下になるように持出し元ファイルを選択しなおし、再度実行してください。

[FCISO-ERR002] 持出し可能な1ファイルサイズの最大値を超えました。持出し可能な1ファイルあたりの最大サイズは%dバイトです。

原因

ファイル持出しログのポリシーが「取得する」かつ、「原本保管する」に設定されている場合に、持出し可能な1ファイルあたりのファイルサイズを超えたファイルを持出そうとしました。

対処

一度に持出せるファイルサイズの最大値は表示された値です。

[FCISO-ERR003] 一度に持出せるファイル個数の最大値を超えました。持出し可能なファイル個数は%d個までです。

原因

ファイル持出しログのポリシーが「取得する」かつ、「原本保管する」に設定されている場合に、一度に持出せるファイル個数を超えた持出しをしようとしてしました。

対処

一度に持出すファイルの個数が表示された個数以下になるように持出し元ファイルを選択しなおし、再度実行してください。

[FCISO-ERR004] 持出しに必要な作業領域が不足しています。処理を中止します。

原因

ファイル持出しログのポリシーが「取得する」かつ、「原本保管する」になっている場合に、原本保管に必要なディスクの空き容量が不足しています。

対処

CTインストール時に指定したログ出力先フォルダがあるドライブの空き容量を確認してください。必要な空き容量は、以下のとおりです。通常持出しの場合、最大で、持出し元ファイルの合計サイズの約2.5倍です。暗号持出しの場合、最大で、持出し元ファイルの合計サイズの約3.5倍です。

[FCISO-ERR005] 持出し元のファイルまたはフォルダが見つかりません。処理を中止します。

原因

原本保管の処理中にエラーが発生しました。以下の原因が考えられます。持出し元のファイルまたはフォルダが削除されました。

対処

以下の内容を確認して、再度実行してください。持出し元に設定したファイルまたはフォルダが存在すること。

[FCISO-ERR006] ファイルの持出し中にエラーが発生しました。処理を中止します。

原因

原本保管の処理中にエラーが発生しました。以下の原因が考えられます。持出し元のファイルまたはフォルダが削除されました。持出し元のファイルまたはフォルダの読み取り権がありません。CTインストール時に指定したログ出力先フォルダが削除されました。CTインストール時に指定したログ出力先フォルダの変更権がありません。

対処

以下の内容を確認後、再度実行してください。持出し元のファイルが存在すること。持出し元の読み取り権があること。CTインストール時に指定したログ出力先フォルダが存在すること。CTインストール時に指定したログ出力先フォルダの変更権があること。

[FCISO-ERR007] 持出し元ファイルへのアクセスが拒否されました。処理を中止します。

原因

原本保管の処理中にエラーが発生しました。以下の原因が考えられます。持出し元ファイルの読み取り権がありません。持出し元ファイルまたはフォルダが削除されました。

対処

以下の内容を確認して、再度実行してください。持出し元に設定したファイルまたはフォルダの読み取り権があること。持出し元に設定したファイルまたはフォルダが存在すること。

[FCO-ERR008] 持出し元ファイルにEFS形式で暗号化されたファイルが含まれています。(%s)EFS形式で暗号化されたファイルは持出しできません。

可変情報

%s : 持出し元ファイル名

原因

ファイル持出しログのポリシーが「取得する」かつ、「原本保管する」に設定されている場合に、EFS形式で暗号化されたファイルを持出そうとしました。

対処

以下のいずれかの処理を実施後、再度実行してください。EFS形式で暗号化されたファイルを、持出しの対象から削除する。EFS形式で暗号化されたファイルの暗号化を解除する。

[FCO-ERR001] 指定されているマニュアルの格納パスが見つかりません。

原因

指定されているマニュアルの格納パスが見つかりません。

対処

富士通技術員に連絡してください。

ファイルに書き込むことができません。

原因

ディスクの空き容量が不足しています。

対処

CTのディスク容量を確保し、再度実行してください。

A.5 暗号化ファイルのメール自動添付で出力されるメッセージ

**[SBX-ERR001] 暗号化のエラー
ファイル名が入力されていません。ファイル名を入力して下さい。**

原因

ファイル名が入力されていません。

対処

ファイル名を入力してください。

**[SBX-ERR002] 暗号化のエラー
パスワードが入力されていません。パスワードを入力して下さい。**

原因

パスワードまたは再入力パスワードが入力されていません。

対処

パスワードを入力してください。

[SBX-ERR003] 暗号化のエラー 暗号化処理が異常終了しました。[%x] %s

可変情報

%x: Windows APIのエラーコードまたはSecureBox APIのエラーコード(16進数)

%s: エラーコードに対応するエラー内容

原因

Windows APIまたはSecureBox APIでエラーが発生しました。

対処

エラーコードに対応するエラー内容を確認して対処してください。

[SBX-INF001] 暗号化の警告 選択されたファイルのパス長が218バイトを超えています。選択ファイルを見直して下さい。

原因

選択されたファイルのパス長が218バイトを超えています。

対処

選択ファイルを確認し、選択をやり直してください。

[SBX-INF003] 暗号化の警告 入力したパスワードと再入力したパスワードが一致しません。パスワードを確認して下さい。

原因

入力したパスワードと再入力したパスワードが一致しません。

対処

正しいパスワードを入力してください。

[SBX-INF004] 暗号化の警告 パスワード長に誤りがあります。パスワードは %d ~ %d文字以内で入力して下さい。

可変情報

%d: ポリシーで設定したパスワードの文字数(10進数)

原因

パスワードの長さがポリシーで設定した範囲内にありません。

対処

パスワードを再入力してください。

A.6 保守コマンドで出力されるメッセージ

[E701-ERR001] このオプションを指定する場合はAdministrator権限が必要です。

原因

オプションの指定が誤っています。
あるいは、現在のWindowsユーザーにAdministrator権限がないため、このオプションは使用できません。
オプションによっては、Administrator権限が必要なものがあります。

対処

オプション指定が正しいか確認してください。
指定したオプションが正しい場合は、ログオンしているWindowsユーザーにAdministrator権限があるか確認してください。

[E701-INF001] コマンドが終了しました。

原因

コマンドが終了した場合に表示します。

対処

—

用語集

CT

Systemwalker Desktop Keeperが管理する最下位レベルであるマシンを指します。CT単位にポリシーを設定することもできます。

CTバージョン

マシンにインストールされているSystemwalker Desktop KeeperのCTのバージョンのことです。

Disc at Onceクローズド

CD-R、CD-RW への記録方式でディスク全体が1回のセッションで書き込まれます。書き込みを実行した後はディスクにデータを追記できません。

PMA(Program Memory Area)

CD-R、CD-RW 上で、まだクローズしていないセッションでトラックが書き込まれるとき、トラック番号と開始/終了位置 (すなわちセッションの TOC) を一時的に保存する領域です。

TOC(Table Of Contents)

CD-R、CD-RW に記録されているトラック数、開始位置、およびデータ領域の合計の長さなどの管理情報です。

Track at Onceオープン

CD-R、CD-RW への記録方式でトラックは個々に書き込まれます。ディスクが一杯でない限り、書き込みの後もデータをディスクに追加できます。

Track at Onceクローズド

CD-R、CD-RW への記録方式でトラックは個々に書き込まれます。書き込みを実行した後はディスクにデータを追記できません。

UNC(Universal Naming Convention)

Windowsのネットワーク環境上で、ネットワーク上にある資源を示すための表記法です。

自己復号型暗号化

Systemwalker Desktop KeeperのCTをインストールしたマシンの持出しユーティリティで作成できる暗号化の種類で、復号するマシンにSystemwalker Desktop Keeperがなくても暗号化したファイルを実行することで、復号できます。(暗号ファイルに復号化プログラムを付加したEXE形式のファイルです。)

代替管理サーバ

クライアント(CT)において、接続している管理サーバの異常時に、ユーザーポリシーを取得するための代替サーバです。

ドライブレター

CTでのドライブ情報のことです。(例:Aドライブの場合は、“A”です。Dドライブの場合は、“D”です。)

ブランクメディア

ボリュームラベルを含む一切の情報が記録されていないCD-R、CD-RWのメディアをブランクメディアといいます。

持出しユーティリティ

このユーティリティで暗号ファイルの作成と、ファイル持出しを行います。暗号ファイルの保存先には自マシンの任意ドライブまたはフォルダを指定することができます。

Systemwalker Desktop KeeperのCTをインストールしたマシンのリムーバブルなどのドライブにファイルを持ち出そうとすると、ドライブが禁止されている場合には、エクスプローラなどからの持ち出しはできません。

リムーバブルなどにファイルを持ち出す場合には、CTにインストールされる持出しユーティリティを用いて、禁止対象のドライブとなっているリムーバブルなどにファイルの持ち出しを行うことができます。また、持ち出すファイルは管理コンソールの設定で、自己復号型暗号化ファイルにできます。

リムーバブル

ドライブレーターで認識される以下のメディアをリムーバブルといいます。(Windowsのマイコンピュータ上の種類でリムーバブルと表示されるメディア)

- フロッピーディスク
- 外付けハードディスク
- MO
- USBメモリ
- コンパクトフラッシュメモリ

